

Cisco UCS C240 SD M5 ラック サーバ

このマニュアルの印刷版は単なるコピーであり、必ずしも最新版ではありません。最新のリリースバージョンについては、次のリンクを参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/products/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/datasheet-listing.html>



目次

概要	3
詳細図	5
サーバ本体の標準機能と特長	7
サーバの構成	12
ステップ 1 サーバ SKU を確認する	13
ステップ 2 ライザーカードを選択する (必須)	14
ステップ 3 CPU を選択する	15
ステップ 4 メモリを選択する	19
ステップ 5 ストレージ コントローラを選択	26
ステップ 6 ドライブを選択する	28
ステップ 7 PCIe オプション カードを選択する	32
ステップ 8 オプションの PCIe オプションカードアクセサリを選択する	36
ステップ 9 GPU カードを選択する (オプション)、ページ	40
ステップ 10 電源ユニットを注文する	42
ステップ 11 入力電源コードを選択する	43
ステップ 12 工具不要レール キットとレール エクステンダ キットを注文する	47
ステップ 13 管理設定を選択する (オプション)	48
ステップ 14 サーバブートモードを選択する (オプション)	49
ステップ 15 セキュリティ デバイスを選択する (オプション)	50
ステップ 16 CISCO SD カードモジュールを選択する (オプション)	51
ステップ 17 M.2 SATA SSD を選択する (オプション)	52
ステップ 18 内蔵マイクロ SD カード モジュールを選択する (オプション)	54
ステップ 19 オプションの USB 3.0 ドライブを選択する	55
ステップ 20 オペレーティング システムと付加価値ソフトウェアを選択する	56
ステップ 21 サービスおよびサポート レベルを選択する	60
参考資料	68
スペア部品	79
CPU のアップグレードまたは交換	80
メモリのアップグレードまたは交換	81
販売終了 (EOL) 製品	83
技術仕様	86

概要

UCS C240 SD M5 SFF サーバは、スタンドアロン環境と UCS 環境の両方で動作するように設計された 2 ソケット C シリーズ 2U シャーシです。標準の x86 ベースの 19 インチラック サーバを使用するエッジ コンピューティング市場に対応します。

UCS C240 SD M5 SFF サーバは、Cisco UCS 240 M5 サーバの派生製品です。

次のリストに、C240 M5 機能と同一の C240 SD M5 サーバ機能の概要を示します。

- 2U フォーム ファクタ
- 第 2 世代 Intel® Xeon® スケーラブル プロセッサ ファミリ (最大 2 CPU)
- DIMM サイズが最大 128 GB の 2933 MHz DIMM、および容量が最大 512 GB の 2666 MHz PMem 用の 24 の DIMM スロット
- 最大メモリ サイズは 7.6 TB (128 GB DDR4 DIMM X 12 および 512 GB PMem X 12 を使用)
- PCIe スロット X 6
- Cisco 12G モジュラ SAS HBA
- Cisco 12G モジュラ RAID コントローラ

次のリストに、C240 SD M5 と C240 M5 サーバの違いを示します。

- シャーシ前面のライザーに最大 6 台の NVMe、SAS/SATA SSD ドライブ、または HDD ドライブを搭載 (C240 M5 ではドライブ ケージに最大 24 台のフロントマウント ドライブを搭載可能)
- 前面の I/O コネクタ (C240 M5 の I/O は背面)
- シャーシ背面のファン (C240 M5 の ファンは前面)
- シャーシの奥行き要件は 22 インチ (C240 M5 は 29 インチ)
- RHEL-SAPH-2S2V-3YR*
- 前面からアクセス可能な I/O コネクタ (C240 M5 は 背面 I/O)
- ライザー 1 およびライザー 2 の新しいライザー カード
- PCIe による設定可能性
 - I/O 中心型アプリケーションの場合、サーバは 2 台の 2.5 インチ NVMe ドライブ、SAS/SATA SSD、または HDD と 6 つの PCIe スロットをサポートします。または
 - ストレージ中心型アプリケーションの場合、サーバは 6 台の NVMe ドライブ、SAS/SATA SSD、または HDD と 2 つの PCIe スロットをサポートします。

本製品は、10GBASE-T のマザーボード組み込み Intel x550 LOM ポート 2 個に加え、PCI スロットを使用することなく Cisco 仮想インターフェイス カード (VIC) またはサードパーティ製ネットワーク インターフェイス カード (NIC) を取り付けることができる専用のモジュール型 LAN on Motherboard (mLOM) 内蔵コネクタも搭載しています。

本製品は、スタンドアロン サーバまたは Cisco Unified Computing System の一部として使用できます。Cisco Unified Computing System は、コンピューティング、ネットワーク、管理、仮想化、およびストレージアクセスが統合されたアーキテクチャであり、ベアメタル環境と仮想化環境両方におけるエンドツーエンドのサーバの可視化、管理、制御を可能にします。

C240 SD M5 には、6 つの PCIe スロットと 2 つのドライブスロット、または 2 つの PCIe スロットと 6 つのドライブスロットの 2 つのバージョンがあります。[図 1、\(4 ページ\)](#) 2 つの PCIe スロットと 6 つのドライブスロットがあるバージョンを示します。

図 1 Cisco UCS C240 SD M5 ラック サーバ

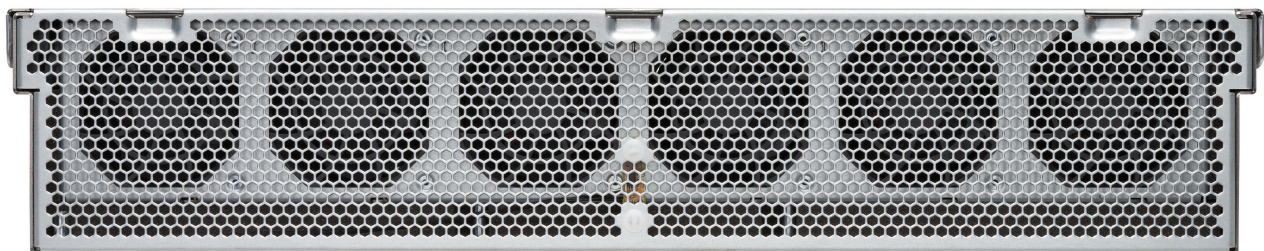
前面図 - 6 ドライブおよび 2 PCIe スロット



正面図 - 2 ドライブと 6 PCIe スロット



背面図



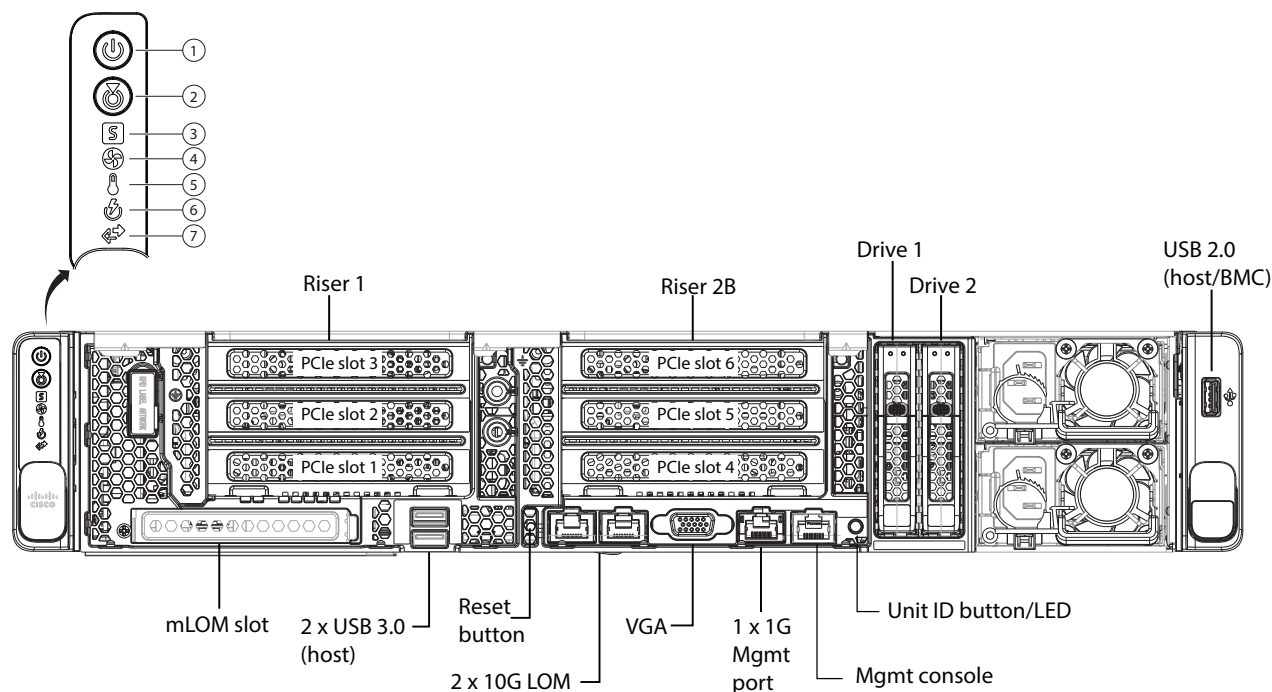
詳細図

シャーシ正面図

Cisco UCS C240 SD M5 SFF ラックサーバは、[図 2](#) または [図 3、\(6 ページ\)](#) に示すように設定できます。[図 2](#) は I/O 用に最適化され、[図 3、\(6 ページ\)](#) はストレージ容量用に最適化されています。

[図 2](#) 2つのドライブ スロットと 6つの PCIe スロットを備えた Cisco UCS C240 SD M5 SFF ラックサーバを示します。

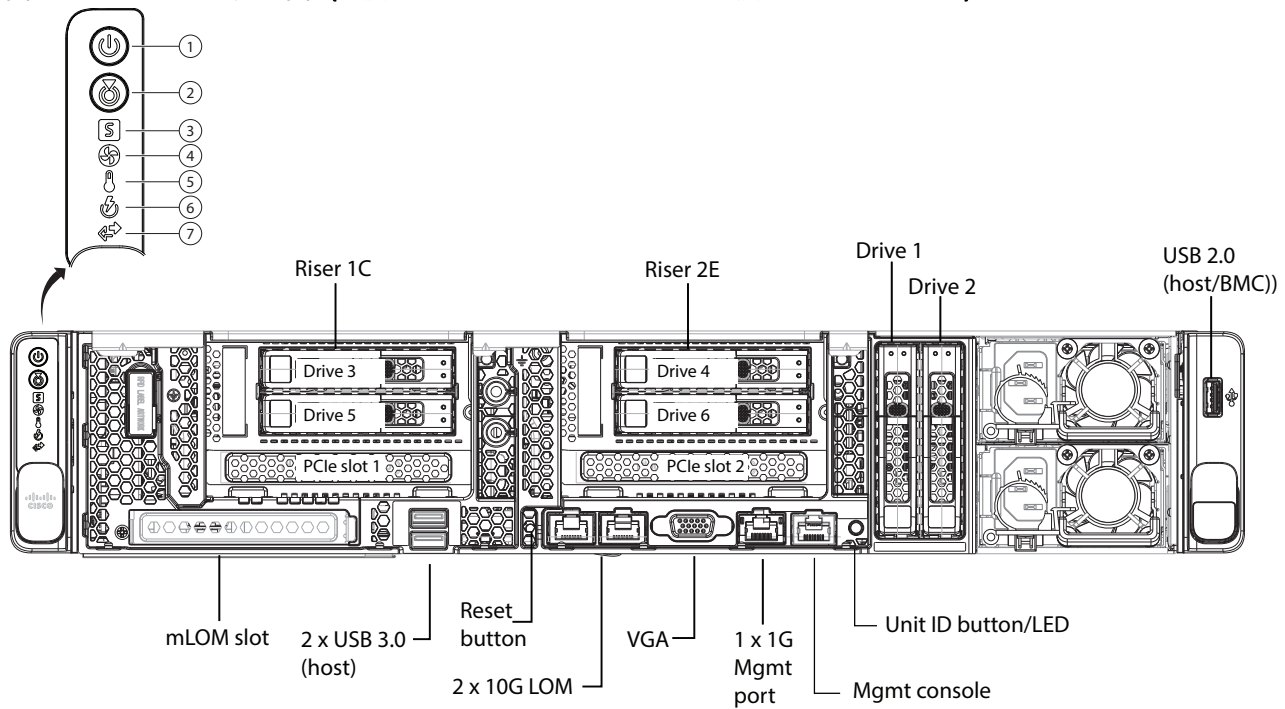
図 2 シャーシの前面図 (SFF ドライブ スロット X 2、PCIe スロット X 6)



1	電源ボタン /LED	2	ユニット ID ボタン /LED
3	システム ヘルス LED	4	ファン ステータス LED
5	温度ステータス LED	6	電源装置ステータス LED
7	ネットワーク リンク アクティビティ LED	-	

図3 6つのドライブスロットと2つのPCIeスロットを備えたCisco UCS C240 SD M5 SFF ラックサーバを示します。

図3 シャーシ前面図 (6個のSFFドライブスロット、2個のPCIeスロット)

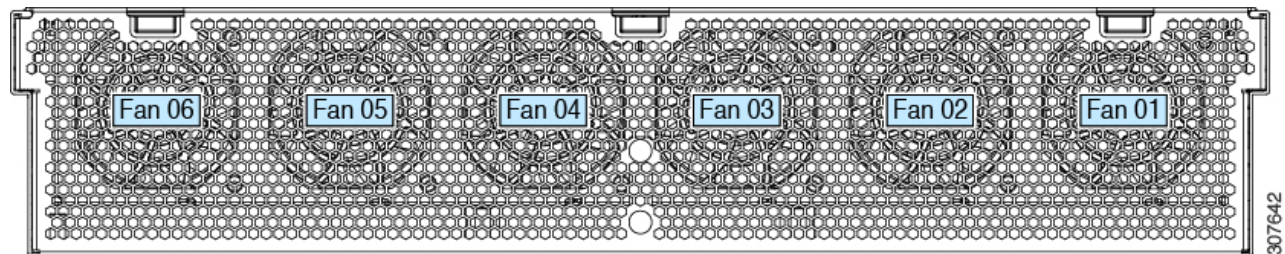


1	電源ボタン /LED	2	ユニット ID ボタン /LED
3	システムヘルス LED	4	ファンステータス LED
5	温度ステータス LED	6	電源装置ステータス LED
7	ネットワークリンク アクティビティ LED	-	

シャーシの背面図

図4に、背面パネルの外部機能を示します。

図4 シャーシの背面図






サーバ本体の標準機能と特長


表 1 にサーバ本体の機能と特徴を示します。サーバの構成方法（プロセッサ数、ディスクドライブ、メモリ容量など）については、[サーバの構成 \(12 ページ\)](#) を参照してください。

表 1 機能および特長

機能 特長	説明
シャーシ	2 ラック ユニット (2RU) シャーシ
CPU	1 つまたは 2 つの第 2 世代 Intel® Xeon® スケーラブル ファミリ CPU
チップセット	Intel® LewisburgC621 シリーズ チップ セット
メモリ	Registered DIMM (RDIMM)、Load-Reduced DIMM (LRDIMM)、またはシリコン貫通電極 (TSV) DIMM 用の 24 個の-slot と Intel® Optane™ パーシステント メモリ モジュール (PMem) のサポート
マルチビット エラー 保護	このサーバはマルチビット エラー保護をサポートします。
ビデオ	<p>Cisco Integrated Management Controller (CIMC) は、Matrox G200e ビデオ / グラフィック ス コントローラを使用してビデオを提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ハードウェア アクセラレーションを備えた内蔵 2D グラフィックスコアです。 ■ DDR2/3 メモリインターフェイスは最大 512 MB のアドレス可能メモリをサポートします (デフォルトで 8 MB がビデオメモリに割り当てられます)。 ■ 最大 1920 X 1200 16bpp、60Hz のディスプレイ解像度をサポートします。 ■ 高速な内蔵 24 ビット RAMDAC ■ 第 1 世代の速度で動作するシングル レーン PCI-Express ホスト インターフェイス
電源サブシ ステム	<p>次のホットスワップ可能な電源モジュールのうち 2 つ (完全な冗長性を実現)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 1050 W (AC) ■ 1050 W (DC) (後日利用可能)
前面パネル	前面パネルコントローラはステータスインジケータおよびコントロールボタンを装備しています。
ACPI	このサーバは、Advanced Configuration and Power Interface (ACPI) 6.2 規格をサポートしています。
ファン	<ul style="list-style-type: none"> ■ 前面から背面への冷却用に背面に取り付けられたホットスワップ可能なファン 6 個 (前面から背面への空気の流れ)
Infiniband	InfiniBand アーキテクチャは PCIe スロットで使用可。

機能特長	説明
<p>拡張スロット</p>	<p>最大 6 個の PCIe スロット (2 枚のライザー カード) サーバは、次のいずれかに設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ライザー 1 オプション 1 およびライザー 2 オプション 2B、または ■ ライザー 1 オプション 1C およびライザー 2 オプション 2E <p>ライザー 1 (PCIe スロット 1、2、3)、CPU 1 および CPU 2 により制御。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ オプション 1 : 3 つの PCIe スロットと 1 つのマイクロ SD スロット。 <ul style="list-style-type: none"> • スロット 1 = フルハイト、3/4 レングス、Gen-3 x8、230 ピン、CPU1、NCSI1 をサポート。 • スロット 2 = フルハイト、フルレングス、Gen-3 x16、230 ピン、CPU、NCSI1、GPU をサポート。 • スロット 3 = フルハイト、フルレングス、Gen-3 x8、CPU2。 • ライザーの内側上部に含まれるマイクロ SD スロット ■ オプション 1C : 1 つの PCIe スロット、2 つのドライブベイ、およびマイクロ SD スロット <ul style="list-style-type: none"> • ドライブ ベイ 3 Gen-3 x4 2.5 インチ カード ハイト • ドライブ ベイ 5 Gen-3 x4 2.5 インチ カード ハイト • PCIe1 (下部スロット) = フルハイト、3/4 レングス、Gen-3 x16、CPU1、GPU、NCSI サポート。 • ライザーの内側上部に含まれるマイクロ SD スロット <p>ライザー 2 - PCIe スロット、すべて CPU 2 により制御。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ オプション 2B : 3 つの PCIe スロット、1 つの NVMe コネクタ <ul style="list-style-type: none"> • スロット 4 = フルハイト、3/4 レングス、Gen-3 x8、NCSI1 をサポート。 • スロット 5 = フルハイト、フルレングス、Gen-3 x16、NCSI1 および GPU をサポート。 • スロット 6 = フルハイト、フルレングス、Gen-3 x8。 • 垂直ドライブ PCIe バックプレーンに接続し、2 つの PCIe NVMe ドライブをサポートする、1 つの Gen-3 x8 NVME コネクタ ■ オプション 2E : 1 つの PCIe スロット、2 つのドライブベイ、1 つの NVMe コネクタ <ul style="list-style-type: none"> • ドライブ ベイ 4 Gen-3 x4 2.5 インチ カード ハイト • ドライブ ベイ 6 Gen-3 x4 2.5 インチ カード ハイト • PCIe 2 (下部スロット) = フルハイト、3/4 レングス、Gen-3 x16、GPU、NCSI サポート • 垂直ドライブ PCIe バックプレーンに接続し、2 つの PCIe NVMe ドライブをサポートする 1 つの Gen-3 x8 NVME コネクタ <p>専用の内部ストレージコントローラ スロット (図 6、(68 ページ) を参照)。Cisco 12G SAS HBA または 1 GB キャッシュを搭載した Cisco 12G SAS RAID コントローラを収容します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • SAS/SATA バックプレーンを搭載した 2 台の SAS/SATA 垂直ドライブを制御します。 • ライザー 1C および 2E に取り付けられた 4 台の SAS / SATA ドライブを制御 <p> 注：垂直ドライブには、SAS/SATA ドライブ用の SAS/SATA バックプレーンまたは PCIe NVMe ドライブ用の PCIe バックプレーンが装備されています。ライザー 1C および 2E は、ライザーを変更せずに PCIe NVMe ドライブまたは SAS/SATA ドライブに対応できます。すべてのドライブタイプ (SAS/SATA または PCIe NVMe) に対応する適切なケーブル接続</p> <p>ライザー 1 およびライザー 2 の詳細については、ライザー カードの設定とオプション (72 ページ) を参照してください。</p>

機能特長	説明
内部ストレージデバイス	<ul style="list-style-type: none"> ■ ライザー 1 および 2B が取り付けられている場合 <ul style="list-style-type: none"> • 2 台の前面取り付け SFF ドライブ (ドライブバックプレーンに応じて、NVMe または SAS/SATA SSD または HDD ドライブ) を電源の横に垂直に取り付けます。 ■ ライザー 1C および 2E が取り付けられている場合 <ul style="list-style-type: none"> • 6 台の SFF ドライブ。ライザーに取り付けられた 4 台の SFF ドライブ (NVMe または SAS/SATA SSD または HDD ドライブ) と、電源の横に垂直に取り付けられた 2 台の前面取り付け SFF ドライブ (ドライブバックプレーンに応じて、NVMe または SAS/SATA SSD または HDD ドライブ)。 <p> 注: 垂直ドライブに SAS/SATA SSD または HDD を選択した場合は、SAS/SATA バックプレーン、ストレージコントローラ、およびケーブルがサーバに合せて構成されます。</p> <p>垂直ドライブに NVME ドライブを選択した場合は、NVME バックプレーンと適切なケーブルがサーバに合せて構成されます。この場合、ドライブは CPU から PCIe バスを介し、さらにライザー 2B または 2E からの NVMe ケーブルを介して制御されます。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ■ マザーボード上に内蔵 USB 3.0 ポートを 1 つ搭載し、追加ストレージとしてオプションの 16 GB USB サム ドライブを装着可能。 ■ マザーボードのミニストレージ モジュール コネクタで次のいずれかをサポートします。 <ul style="list-style-type: none"> • 2 本の SD カードスロットを備えた SD カードモジュール。(容量の異なる SD カードは混在不可) • 2 つの SATA M.2 SSD スロットがある M.2 モジュール。容量の異なる M.2 モジュールの同時使用はサポートされません。または • 2 個の NVMe M.2 SSD スロットを備えた M.2 モジュール (容量の異なる M.2 モジュールは混在不可) <p> 注: SD カードと M.2 を混在させることはできません。M.2 は VMWare での RAID1 をサポートしていません。M.2 モジュールは、Windows および Linux のみをサポートしています。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ■ PCIe ライザー 1 および 1C 上のマイクロ SD カードスロット X 1。マイクロ SD カードは、HUU などのユーティリティ用の専用ローカル リソースとして機能します。ファイル共有 (NFS/CIFS) からイメージを取得し、後で使用するためにカードにアップロードできます。

機能特長	説明
I/O インターフェイスおよびインジケータ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 前面パネル <ul style="list-style-type: none"> • 1GBASE-T RJ-45 管理ポート (Marvell 88E6176) X 1 • 10GBASE-T LOM ポート (マザーボードに Intel X550-AT2 (100 M/1G/10G) コントローラを搭載) X 2 • 各種のインターフェイス カードを搭載できるフレキシブル モジュール型 LAN on Motherboard (mLOM) スロット X 1 • RS-232 シリアル ポート (RJ45 コネクタ) x 1 • DB15 VGA コネクタ x 1 • USB 3.0 ポートコネクタ x 2 • 1つのユニット ID (UID) LED/ ボタン • 1つのリセット ボタン ■ 左スラム ラッチ <ul style="list-style-type: none"> • 1つの電源 LED/ ボタン • 1つのユニット ID (UID) LED/ ボタン • 1つのシステム ステータス LED • 1つのファン ステータス LED • 1つの温度ステータス LED • 1つの電源装置ステータス LED • 1つのネットワーク リンク アクティビティ LED ■ 右スラム ラッチ <ul style="list-style-type: none"> • 1つの USB ポート (ホスト /BMC)
ストレージコントローラ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 内蔵 SAS 接続の Cisco 12G SAS RAID コントローラ カード <ul style="list-style-type: none"> • 最大 6 台の SAS/SATA SSD または SAS/SATA HDD 内部ドライブをサポート • RAID 0、1、5、6、10、50、60、または JBOD モードをサポート • 専用の RAID コントローラ スロットに装着します。 • 1GB の書き込みキャッシュが付属 (SuperCap でバックアップ) ■ Cisco 12G SAS HBA (JBOD/ パススルーモード) <ul style="list-style-type: none"> • 最大 6 台の SAS/SATA SSD または SAS/SATA HDD 内部ドライブをサポート • 専用の RAID コントローラスロットに装着します。
モジュール型 LAN on Motherboard (mLOM) スロット	<p>マザーボードの mLOM 専用スロットには、次のカードを柔軟に装着できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ Cisco 仮想インターフェイス カード <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="margin-right: 10px;">  </div> <div> <p>注：オプションのカードを mLOM スロットに装着することにより、2 個のマザーボード組み込み LAN ポートとは別に 4 個の Intel i350 ポートを追加できます。</p> </div> </div>

機能 特長	説明
組み込み管理プロセス	<p>Cisco Integrated Management Controller (CIMC) ファームウェアを実行するベースボード管理コントローラ (BMC)。</p> <p>CIMC の設定に応じて、1GE 管理専用ポート、1GE/10GE LOM ポート、または Cisco 仮想インターフェイス カード (VIC) を介して CIMC にアクセスできます。</p> <p>CIMC はサーバ内の特定のコンポーネント (Cisco 12G SAS HBA など) を管理します。</p>
UCSM	UCS Manager (UCSM) はファブリック インターコネクト内で実行され、一部のサーバ コンポーネントを自動的に検出してプロビジョニングします。

サーバの構成

以下の手順に従って、Cisco UCS C240 SD M5 SFF ラックサーバを構成します。

- [ステップ1 サーバSKUを確認するページ13](#)
- [ステップ2 ライザーカードを選択する \(必須\) ページ14](#)
- [ステップ3 CPUを選択するページ15](#)
- [ステップ4 メモリを選択するページ19](#)
- [ステップ5 ストレージコントローラを選択ページ26](#)
- [ステップ6 ドライブを選択するページ28](#)
- [ステップ7 PCIe オプションカードを選択するページ32](#)
- [ステップ8 オプションのPCIe オプションカードアクセサリを選択するページ36](#)
- [ステップ9 GPU カードを選択する \(オプション\)、 ページページ40](#)
- [ステップ10 電源ユニットを注文するページ42](#)
- [ステップ11 入力電源コードを選択するページ43](#)
- [ステップ12 工具不要レール キットとレール エクステンダ キットを注文するページ47](#)
- [ステップ13 管理設定を選択する \(オプション\) ページ48](#)
- [ステップ14 サーバブートモードを選択する \(オプション\) ページ49](#)
- [ステップ15 セキュリティ デバイスを選択する \(オプション\) ページ50](#)
- [ステップ16 CISCO SD カードモジュールを選択する \(オプション\) ページ51](#)
- [ステップ17 M.2 SATA SSD を選択する \(オプション\) ページ52](#)
- [ステップ18 内蔵マイクロSD カード モジュールを選択する \(オプション\) ページ54](#)
- [ステップ19 オプションのUSB 3.0 ドライブを選択するページ55](#)
- [ステップ20 オペレーティング システムと付加価値ソフトウェアを選択するページ56](#)
- [ステップ21 サービスおよびサポート レベルを選択するページ60](#)

ステップ 1 サーバ SKU を確認する

C240 SD M5 サーバの製品 ID (PID) は UCSC-C240-M5SD です。製品の設定時に、[表 2](#) に示すように、サーバを 2 つの異なる機能に設定できます。

表 2 C240 SD M5 SFF ラックベースサーバの PID

製品設定例	説明
I/O セントリック	<p>2 ドライブ バックプレーン付き小型フォームファクタ (SFF) ドライブ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ライザー 1 および 2B で設定 ■ 2.5 インチ NVMe または SAS/SATA SSD または HDD ドライブをサポートする 2 つの垂直ドライブ ベイ。 ■ PCIe スロット x 6 ■ CPU、メモリ、ドライブ、PCIe カード、電源は含まれません。
ストレージ セントリック	<p>2 ドライブ バックプレーン付き小型フォームファクタ (SFF) ドライブ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ライザー 1C および 2E で設定 ■ 2.5 インチ NVMe または SAS/SATA SSD または HDD ドライブをサポートする 2 つの垂直ドライブ ベイ。 ■ 4 個のドライブ ベイ、ライザー 1C に 2 個、ライザー 2E に 2 個、SAS/SATA SSD または HDD ドライブまたは NVMe ドライブをサポート。 ■ PCIe スロット x 2 ■ CPU、メモリ、ドライブ、PCIe カード、電源は含まれません。



注：サーバの設定は、取り付けられている CPU の数によって異なります。詳細については、[表 42 \(73 ページ\)](#) を参照してください。

Cisco UCS C240 SD M5 サーバ：

- 電源、CPU、メモリ (DIMM または PMem)、ハード ディスク ドライブ (HDD)、ソリッド ステート ドライブ (SSD)、NVMe ドライブ、SD カード、ライザー 1、ライザー 2、工具不要 レール キット、PCIe カードは含まれません。



注：以降の手順に従い、必要なコンポーネントをサーバに追加してください。

ステップ 2 ライザーカードを選択する (必須)

サーバごとにライザーカード 1 と 2 を選択できます。ライザーカード 1 には 2 つのオプション (1 および 1B) があり、ライザーカード 2 には 4 つのオプション (2A、2B、2C、2D) があります。サーバの背面から見て、ライザーカード 1 は左側に、ライザーカード 2 は右側に取り付けます。

有効なライザー発注オプションは次のとおりです。

- ライザーカード 1 のみ (この場合、ライザーカード 2 にはブランクパネルが自動的に設定されます)、または
- ライザーカード 1 およびライザーカード 2B、または
- ライザーカード 1C およびライザーカード 2E

表 3 ライザー PID

製品 ID (PID)	説明
UCSC-RIS-1-240M5	ライザーカード 1 3 つの PCIe スロット (x8、x16、x8)、スロット 3 には CPU2 が必要、T4 GPU をサポート
UCSC-RIS-2B-240M5	ライザーカード 2 3 つの PCIe スロット (x8、x16、x8) は GPU と背面 NVMe をサポート、T4 GPU をサポート
UCSC-RS1C-240M5SD	ライザーカード 1C 1 x16 PCIe スロット、2x ドライブ スロット、microSD をサポート
UCSC-RS2E-240M5SD	ライザーカード 2E 1 x16 PCIe スロット、2x ドライブ スロット、microSD のサポートなし

詳細については、次を参照してください。 [ライザーカードの設定とオプション \(72 ページ\)](#)

ステップ 3 CPU を選択する

CPU の標準機能は次のとおりです。

- 第 2 世代 Intel® Xeon® スケーラブル ファミリ CPU
- Intel® C621 シリーズ チップセット
- 最大 38.5 MB のキャッシュ サイズ



注：サーバの設定は、取り付けられている CPU の数によって異なります。詳細については、[表 42 \(73 ページ\)](#) を参照してください。

CPU を選択する

使用可能な CPU を以下に示します [表 4](#)。

表 4 表 3 使用可能な Intel CPU (シスコ推奨)

製品 ID (PID)	インテル プロセッ サ モデル	クロック周 波数 GHz	消費電力 (W)	キャッ シュサイ ズ (MB)	コア	UPI ¹ リン ク (GT/s)	サポートする DDR4 DIMM の最 大クロック (MHz) ²
シスコ推奨の CPU³ (第 2 世代 Intel® Xeon® プロセッサ)							
UCS-CPU-I8276	I8276	2.2	165	38.50	36	3 X 10.4	2933
UCS-CPU-I8260	I8260	2.4	165	35.75	24	3 X 10.4	2933
UCS-CPU-I6262V	I6262V	1.9	135	33.00	24	3 X 10.4	2400
UCS-CPU-I6248	I6248	2.5	150	27.50	20	3 X 10.4	2933
UCS-CPU-I6238R	I6238R	2.2	165	38.50	36	3 X 10.4	2933
UCS-CPU-I6238	I6238	2.1	140	30.25	22	3 X 10.4	2933
UCS-CPU-I6230R	I6230R	2.1	150	35.75	26	3 X 10.4	2933
UCS-CPU-I6230	I6230	2.1	125	27.50	20	3 X 10.4	2933
UCS-CPU-I5220R	I5220R	2.2	125	24.75	18	3 X 10.4	2666
UCS-CPU-I5220	I5220	2.2	125	24.75	18	3 X 10.4	2666
UCS-CPU-I5218R	I5218R	2.2	125	27.50	20	3 X 10.4	2666
UCS-CPU-I5218	I5218	2.3	125	22.00	16	3 X 10.4	2666
UCS-CPU-I4216	I4216	2.1	100	22.00	16	2 x 9.6	2400
UCS-CPU-I4214R	I4214R	2.4	100	16.50	12	2 x 9.6	2400
UCS-CPU-I4214	I4214	2.2	85	16.50	12	2 x 9.6	2400
UCS-CPU-I4210R	I4210R	2.4	100	13.75	10	2 x 9.6	2400
UCS-CPU-I4210	I4210	2.2	85	13.75	10	2 x 9.6	2400

注：

1. UPI = Ultra Path インターコネクト 2 ソケット サーバでは、CPU が 3 つの UPI をサポートしている場合でも、2 つの UPI のパフォーマンスのみサポートします。
2. 一部の CPU について、表に示すメモリアクセス速度よりも高速または低速な DIMM を選択した場合、DIMM のクロック速度は、CPU 側のメモリアクセスクロックと DIMM クロックのうちの低い方になります。

3. プロセッサクラスおよび CPU モードのメモリサポートの詳細については、次を参照してください

[Memory Support for C240 SD M5 CPUs, page 80](#)

表 5 追加で使用可能な Intel CPU

製品 ID (PID)	クロック 周波数 GHz	消費電 力 (W)	キャッ シュサ イズ (MB)	コア	UPI ¹ リンク (GT/s)	サポートする DDR4 DIMM の最大クロッ ク (MHz) ²	プロセッサ タイプ ³
8000 シリーズ プロセッサ							
UCS-CPU-I8276L	2.2	165	38.50	36	3 X 10.4	2933	第 2 世代 Intel® Xeon®
UCS-CPU-I8276	2.2	165	38.50	36	3 X 10.4	2933	第 2 世代 Intel® Xeon®
UCS-CPU-I8260Y	2.4	165	35.75	24/20/ 16	3 X 10.4	2933	第 2 世代 Intel® Xeon®
UCS-CPU-I8260L	2.4	165	35.75	24	3 X 10.4	2933	第 2 世代 Intel® Xeon®
UCS-CPU-I8260	2.4	165	35.75	24	3 X 10.4	2933	第 2 世代 Intel® Xeon®
6000 シリーズ プロセッサ							
UCS-CPU-I6262V	1.9	135	33.00	24	3 X 10.4	2400	第 2 世代 Intel® Xeon®
UCS-CPU-I6252	2.1	150	35.75	24	3 X 10.4	2933	第 2 世代 Intel® Xeon®
UCS-CPU-I6248	2.5	150	27.50	20	3 X 10.4	2933	第 2 世代 Intel® Xeon®
UCS-CPU-I6246	3.3	165	24.75	12	3 X 10.4	2933	第 2 世代 Intel® Xeon®
UCS-CPU-I6244	3.6	150	24.75	8	3 X 10.4	2933	第 2 世代 Intel® Xeon®
UCS-CPU-I6242	2.8	150	22.00	16	3 X 10.4	2933	第 2 世代 Intel® Xeon®
UCS-CPU-I6240R	2.4	165	35.75	24	3 X 10.4	2933	第 2 世代 Intel® Xeon®
UCS-CPU-I6240L	2.6	150	24.75	18	3 X 10.4	2933	第 2 世代 Intel® Xeon®
UCS-CPU-I6240Y	2.6	150	24.75	18/14/ 8	3 X 10.4	2933	第 2 世代 Intel® Xeon®
UCS-CPU-I6240M	2.6	150	24.75	18	3 X 10.4	2933	第 2 世代 Intel® Xeon®
UCS-CPU-I6240	2.6	150	24.75	18	3 X 10.4	2933	第 2 世代 Intel® Xeon®
UCS-CPU-I6238L	2.1	140	30.25	22	3 X 10.4	2933	第 2 世代 Intel® Xeon®
UCS-CPU-I6238R	2.2	165	38.5	36	3 X 10.4	2933	第 2 世代 Intel® Xeon®
UCS-CPU-I6238M	2.1	140	30.25	20	3 X 10.4	2933	第 2 世代 Intel® Xeon®
UCS-CPU-I6238	2.1	140	30.25	22	3 X 10.4	2933	第 2 世代 Intel® Xeon®
UCS-CPU-I6234	3.3	125	24.75	8	3 X 10.4	2933	第 2 世代 Intel® Xeon®
UCS-CPU-I6230R	2.1	150	35.75	26	3 X 10.4	2933	第 2 世代 Intel® Xeon®
UCS-CPU-I6230	2.1	125	27.50	20	3 X 10.4	2933	第 2 世代 Intel® Xeon®
UCS-CPU-I6226R	2.9	150	22.00	16	3 X 10.4	2933	第 2 世代 Intel® Xeon®
UCS-CPU-I6226	2.7	125	19.25	12	3 X 10.4	2666	第 2 世代 Intel® Xeon®
UCS-CPU-I6222V	1.8	115	27.50	20	3 X 10.4	2400	第 2 世代 Intel® Xeon®
5000 シリーズ プロセッサ							
UCS-CPU-I5222	3.8	125	16.50	4	3 X 10.4	2933	第 2 世代 Intel® Xeon®
UCS-CPU-I5220S	2.7	125	24.75	18	3 X 10.4	2666	第 2 世代 Intel® Xeon®

表 5 追加で使用可能な Intel CPU

製品 ID (PID)	クロック 周波数 GHz	消費電 力 (W)	キャッ シュサ イズ (MB)	コア	UPI ¹ リンク (GT/s)	サポートする DDR4 DIMM の最大クロッ ク (MHz) ²	プロセッサ タイプ ³
UCS-CPU-I5220R	2.2	150	35.75	24	3 X 10.4	2666	第 2 世代 Intel® Xeon®
UCS-CPU-I5220	2.2	125	24.75	18	3 X 10.4	2666	第 2 世代 Intel® Xeon®
UCS-CPU-I5218B	2.3	125	22.00	16	3 X 10.4	2666	第 2 世代 Intel® Xeon®
UCS-CPU-I5218R	2.1	125	27.5	20	3 X 10.4	2666	第 2 世代 Intel® Xeon®
UCS-CPU-I5218	2.3	125	22.00	16	3 X 10.4	2666	第 2 世代 Intel® Xeon®
UCS-CPU-I5217	3.0	115	11.00	8	3 X 10.4	2666	第 2 世代 Intel® Xeon®
UCS-CPU-I5215L	2.5	85	13.75	10	3 X 10.4	2666	第 2 世代 Intel® Xeon®
UCS-CPU-I5215	2.5	85	13.75	10	3 X 10.4	2666	第 2 世代 Intel® Xeon®
4000 シリーズ プロセッサ							
UCS-CPU-I4216	2.1	100	22.00	16	2 x 9.6	2400	第 2 世代 Intel® Xeon®
UCS-CPU-I4215R	3.2	130	11.00	8	2 x 9.6	2400	第 2 世代 Intel® Xeon®
UCS-CPU-I4215	2.5	85	11.00	8	2 x 9.6	2400	第 2 世代 Intel® Xeon®
UCS-CPU-I4214Y	2.2	85	16.50	12/10/ 8	2 x 9.6	2400	第 2 世代 Intel® Xeon®
UCS-CPU-I4214R	2.4	100	16.50	12	2 x 9.6	2400	第 2 世代 Intel® Xeon®
UCS-CPU-I4214	2.2	85	16.50	12	2 x 9.6	2400	第 2 世代 Intel® Xeon®
UCS-CPU-I4210R	2.4	100	13.75	10	2 x 9.6	2400	第 2 世代 Intel® Xeon®
UCS-CPU-I4210	2.2	85	13.75	10	2 x 9.6	2400	第 2 世代 Intel® Xeon®
UCS-CPU-I4208	2.1	85	11.00	8	2 x 9.6	2400	第 2 世代 Intel® Xeon®
3000 シリーズ プロセッサ							
UCS-CPU-I3204	1.9	85	8.25	6	2 x 9.6	2133	第 2 世代 Intel® Xeon®
UCS-CPU-I3206R	1.9	85	11.00	8	2 x 9.6	2133	第 2 世代 Intel® Xeon®

注:

- UPI = Ultra Path インターコネクト 2 ソケット サーバでは、CPU が 3 つの UPI をサポートしている場合でも、2 つの UPI のパフォーマンスのみサポートします。
- 一部の CPU について、表に示すメモリアクセス速度よりも高速または低速な DIMM を選択した場合、DIMM のクロック速度は、CPU 側のメモリアクセスクロックと DIMM クロックのうちの低い方になります。
- プロセッサ クラスおよび CPU モードのメモリアクセスの詳細については、次を参照してください [Memory Support for C240 SD M5 CPUs, page 80](#)

サポートされている構成

(1) DIMM のみの構成:

- [表 4 \(15 ページ\)](#) または [表 5 \(16 ページ\)](#) のリストに記載されている 1 つの CPU (サーバの機能は低下する) または 2 つの同一の CPU を選択します。

(2) DIMM/PMEM の混在構成

- [表4 \(15 ページ\)](#) または [表5 \(16 ページ\)](#) のリストに記載されている 2 つの同一の CPU を選択する必要があります。

注意事項

- 選択する 1 つまたは 2 つの CPU は、必要なサーバの機能に応じて異なります。次の項を参照してください。
 - [ステップ4 メモリを選択するページ19](#)
 - [ステップ5 ストレージコントローラを選択ページ26](#)
 - [ステップ6 ドライブを選択するページ28](#)
 - [ステップ7 PCIe オプションカードを選択するページ32](#)
 - [表42 \(73 ページ\)](#)



注：EU 規制 2019/424 により、以下の CPU については最小数量として 2 つしか選択できません。

UCS-CPU-I4210、UCS-CPU-I4215

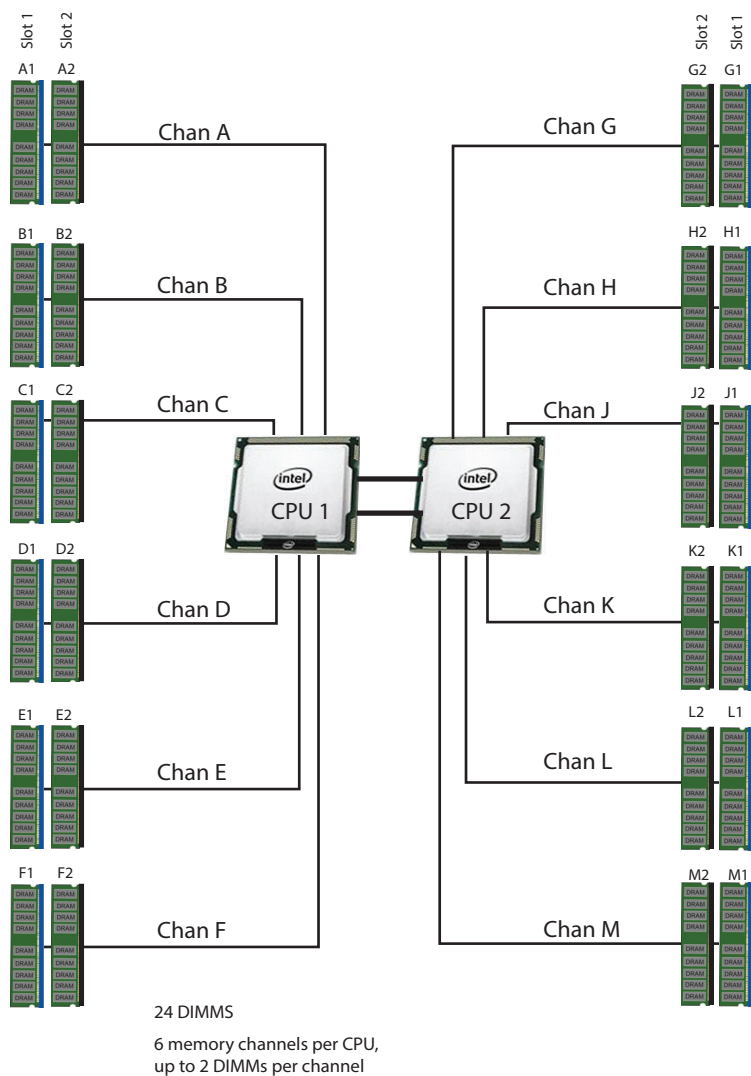
ステップ 4 メモリを選択する

C240 SD M5 SFF で使用可能なメモリは次のとおりです。

- クロック速度：最大 2933 MHz。使用可能な CPU とそれに関連する DDR4 DIMM の最大クロックサポートについては、[表 4](#) を参照してください。
- DIMM あたりのランク：1、2、4、または 8
- 動作時の電圧：1.2 V
- 登録済み ECC DDR4 DIMM (RDIMM)、Load-reduced DIMM (LRDIMM)、または Intel® Optane™ パーシステント メモリ モジュール (PMem)。

[図 5](#) に示されているように、メモリは、CPU あたり 6 個のメモリチャンネルと、チャンネルあたり最大 2 個の DIMM で構成されます。

図 5 C240 SD M5 SFF のメモリ構成



DIMM とメモリ ミラーリングの選択

メモリの構成とメモリ ミラーリング オプションが必要かどうかを選択します。使用できるメモリ DIMM とミラーリング オプションを表 6 に示します。



注：メモリのミラーリングをイネーブルにすると、メモリ サブシステムによって同一データが 2 つのチャンネルに同時に書き込まれます。片方のチャンネルに対してメモリの読み取りを実行した際に訂正不可能なメモリ エラーによって誤ったデータが返されると、システムはもう片方のチャンネルからデータを自動的に取得します。片方のチャンネルで一時的なエラーまたはソフト エラーが発生しても、ミラーリングされたデータが影響を受けることはありません。DIMM とそのミラーリング相手の DIMM に対してまったく同じ場所で同時にエラーが発生しない限り、動作は継続します。メモリのミラーリングを使用すると、2 つの装着済みチャンネルの一方からしかデータが提供されないため、オペレーティング システムで使用可能なメモリ量が 50 % 減少します。

表 6 使用可能な DDR4 DIMM

製品 ID (PID)	PID の説明	Voltage	ランク / DIMM
UCS-ML-256G8RT-H	256 GB DDR4-2933MHz LRDIMM/8Rx4/1.2v	1.2 V	8
UCS-ML-128G4RT-H ¹	128 GB DDR4-2933MHz LRDIMM/4Rx4 (16Gb)	1.2 V	4
UCS-ML-X64G4RT-H ¹	64 GB DDR4-2933MHz LRDIMM/4Rx4 (8Gb)	1.2 V	4
UCS-MR-X64G2RT-H ¹	64 GB DDR4-2933MHz RDIMM/2Rx4 (16Gb)	1.2 V	2
UCS-MR-X32G2RT-H ¹	32GB DDR4-2933MHz RDIMM/2Rx4 (8Gb)	1.2 V	2
UCS-MR-X16G1RT-H ¹	16 GB DDR4-2933-MHz RDIMM/1Rx4 (8Gb)	1.2 V	1
UCS-ML-128G4RW ²	128GB DDR4-3200MHz LRDIMM 4Rx4 (16Gb)	1.2 V	1
UCS-MR-X64G2RW ²	64GB DDR4-3200MHz RDIMM 2Rx4 (16Gb)	1.2 V	1
UCS-MR-X32G2RW ²	32GB DDR4-3200MHz RDIMM 2Rx4 (8Gb)	1.2 V	1
UCS-MR-X16G1RW ²	16GB DDR4-3200MHz RDIMM 1Rx4 (8Gb)	1.2 V	1
Intel® Optane™ パーシステント メモリ製品			
UCS-MP-128GS-A0	Intel® Optane™ パーシステント メモリ、128GB、2666MHz		
UCS-MP-256 G-A0	Intel® Optane™ パーシステント メモリ、256GB、2666MHz		
UCS-MP-512 G-A0	Intel® Optane™ パーシステント メモリ、512GB、2666MHz		
Intel® Optane™ パーシステント メモリ製品動作モード			
UCS-DCPMM-AD	App Direct モード		
UCS-DCPMM-MM	メモリ モード		
メモリ ミラーリング オプション			
N01-MMIRROR	メモリ ミラーリング オプション		

注:

1. シスコは、DDR4-2933 メモリ DIMM 製品の販売終了を発表しました。[EOL14611](#) には、この発表の影響を受ける製品の部品番号が示されています。[表7](#) は、交換用メモリ DIMM 製品の部品番号を示しています。
2. DDR4-3200MHz の交換部品番号は、2133 ~ 2933 MHz の範囲の Intel 第 2 世代 Xeon スケーラブル プロセッサ メモリ インターフェイスの最大速度で動作します。

[表7](#) に、EOL メモリ DIMM 製品の部品番号とその交換用 PID を示します。

表 7 EOL14611 メモリ DIMM 製品番号と交換用 PID

EOS 製品 部品番号 (PID)	PID の説明	後継製品 PID	後継製品の内容
UCS-MR-X16G1RT-H	16GB DDR4-2933MHz RDIMM 1Rx4 (8Gb) /1.2v	UCS-MR-X16G1RW	16GB DDR4-3200MHz RDIMM 1Rx4 (8Gb) /1.2v
UCS-MR-X32G2RT-H	32GB DDR4-2933MHz RDIMM 2Rx4 (8Gb) /1.2v	UCS-MR-X32G2RW	32GB DDR4-3200MHz RDIMM 2Rx4 (8Gb) /1.2v
UCS-MR-X64G2RT-H	64GB DDR4-2933MHz RDIMM 2Rx4 (16Gb) /1.2v	UCS-MR-X64G2RW	64GB DDR4-3200MHz RDIMM 2Rx4 (16Gb) /1.2v
UCS-ML-X64G4RT-H	64GB DDR4-2933MHz LRDIMM 4Rx4 (8Gb) /1.2v	UCS-MR-X64G2RW ¹	64GB DDR4-3200MHz RDIMM 2Rx4 (16Gb) /1.2v
UCS-ML-128G4RT-H	128GB DDR4-2933MHz LRDIMM 4Rx4 (16Gb) /1.2v	UCS-ML-128G4RW	128GB DDR4-3200MHz LRDIMM 4Rx4 (16Gb) /1.2v



注: (1) シスコは、既存の UCS-ML-x64G4RT-H の交換用 PID として Load Reduce DIMM (LRDIMM) 64GB メモリ PID をサポートしておらず、代わりに Registered DIMM (RDIMM) に移行して、パフォーマンスと価格の最適なバランスを実現することを推奨しています。

動作確認済みの構成

(1) 1 CPU 構成、メモリ ミラーリングなし :

- 1 ~ 12 個の DIMM を選択します。

チャンネル内の CPU DIMM 配置 (同一速度の DIMM)	
1	(A1)
2	(A1, B1)
3	(A1, B1, C1)
4	(A1, B1); (D1, E1)
6	(A1, B1); (C1, D1); (E1, F1)
8	(A1, B1); (D1, E1); (A2, B2); (D2, E2)
12	(A1, B1); (C1, D1); (E1, F1); (A2, B2); (C2, D2); (E2, F2)

(2) 1 CPU 構成、メモリ ミラーリングあり :

- 4、6、8、または 12 個の同じ DIMM を選択します。DIMM は、次の表に示すように、出荷時に配置されます。

チャンネル内の CPU 1 DIMM 配置 (同一速度の DIMM)	
4	(A1, B1); (D1, E1)
6	(A1, B1, C1); (D1, E1, F1)
8	(A1, A2, B1, B2); (D1, D2, E1, E2)
12	(A1, A2, B1, B2, C1, C2); (D1, D2, E1, E2, F1, F2)

- [表 6 \(20 ページ\)](#) に示すメモリ ミラーリング オプション (N01-MMIRROR) を選択します。

(3) 2 CPU 構成、メモリ ミラーリングなし :

- CPU あたり 1 ~ 12 個の DIMM を選択します。

チャンネル内の CPU 1 の DIMM 配置 (同一速度の DIMM)		チャンネル内の CPU 2 の DIMM 配置 (同じランクの DIMM)
CPU 1	CPU 2	
1	(A1)	(G1)
2	(A1, B1)	(G1, H1)
3	(A1, B1, C1)	(G1, H1, J1)
4	(A1, B1); (D1, E1)	(G1, H1); (K1, L1)
6	(A1, B1); (C1, D1); (E1, F1)	(G1, H1); (J1, K1); (L1, M1)
8	(A1, B1); (D1, E1); (A2, B2); (D2, E2)	(G1, H1); (K1, L1); (G2, H2); (K2, L2)
1 2	(A1, B1); (C1, D1); (E1, F1); (A2, B2); (C2, D2); (E2, F2)	(G1, H1); (J1, K1); (L1, M1); (G2, H2); (J2, K2); (L2, M2)

(4) 2 CPU 構成、メモリ ミラーリングあり :

- CPU あたり 8、12、16、または 24 個の同じ DIMM を選択します。DIMM は、次の表に示すように、出荷時に配置されます。

チャンネル内の CPU 1 の DIMM 配置 (同一速度の DIMM)		チャンネル内の CPU 2 の DIMM 配置 (同じランクの DIMM)
CPU 1	CPU 2	
8	(A1,B1); (D1,E1)	(G1, H1); (K1, L1)
12	(A1, B1, C1); (D1, E1, F1)	(G1, H1, J1); (K1, L1, M1)
16	(A1, A2, B1, B2); (D1, D2, E1, E2)	(G1, G2, H1, H2); (K1, K2, L1, L2)
24	(A1, A2, B1, B2, C1, C2); (D1, D2, E1, E2, F1, F2)	(G1, G2, H1, H2, J1, J2); (K1, K2, L1, L2, M1, M2)

- [表 6 \(20 ページ\)](#) に示すメモリ ミラーリング オプション (N01-MMIRROR) を選択します。



注 :

- システム パフォーマンスは、両方の CPU で DIMM のタイプと数量が同じで、すべてのチャンネルがサーバ内の CPU 全体で等しく利用されている場合に最適化されます。
- PMem がインストールされているときは、DIMM 混合が許可されません。すべての DIMM は同じタイプとサイズでなければなりません。

システム速度

メモリは、Intel Xeon Scalable Processor メモリコントローラの最大速度で動作します。M5 サーバーでは、2133 ~ 2933 MHz の範囲です。サポートされている速度については、CPU の仕様を確認してください。



注：詳細な混合 DIMM 構成については、『Cisco UCS [Cisco UCS C220/C240/B200 M5 メモリガイド](#)』で説明されています。

メモリ設定とモード

PMem メモリ モードについては、[表 8](#) を参照してください。

表 8 Intel® Optane™ パーシステント メモリ モード

Intel® Optane™ パーシステント メモリ	
App Direct モード：	PMem は、ソリッドステート ディスク ストレージ デバイスとして動作します。データは保存され、不揮発性です。PMEM キャパシティと DIMM キャパシティの両方が CPU に対して考慮されます (PMEM キャパシティと DIMM キャパシティの両方が CPU キャパシティの制限に対して考慮されます)
メモリ モード： ¹	PMEM は、100% メモリ モジュールとして動作します。データは揮発性であり、DRAM は PMem のキャッシュとして機能します。PMem キャパシティのみ CPU から利用できます (PMem キャパシティのみ CPU キャパシティの制限に対して考慮されます)。これは工場出荷時のデフォルト モードです。
混合モード：	DRAM はキャッシュとして使用されます。PMem キャパシティのみ CPU 階層に利用できます (PMem キャパシティのみ CPU キャパシティの制限に対して考慮されます)。

注：

- メモリ モードの場合、同じ CPU チャンネルにおける Intel 推奨の DIMM と PMem の容量比は 1:4 ~ 1:16 です。したがって、チャンネルで 128 GB の DIMM を使用する場合は、512 GB の PMem を使用できます (容量比は 1:4)。チャンネルで 32 GB の DIMM を使用する場合は、512 GB の PMem を使用できます (容量比は 1:16)。他にも複数の組み合わせが可能です。

表 9 第 2 世代 Intel® Xeon® スケーラブル プロセッサ DIMM および PMem¹ 物理構成

DIMM から PMem カウント	CPU 1											
	iMC1						iMCO					
	チャンネル 2		チャンネル 1		チャンネル 0		チャンネル 2		チャンネル 1		チャンネル 0	
	F2	F1	E2	E1	D2	D1	C2	C1	B2	B1	A2	A1
6 - 2		DIMM		DIMM	PMem	DIMM		DIMM		DIMM	PMem	DIMM
6 - 4		DIMM	PMem	DIMM	PMem	DIMM		DIMM	PMem	DIMM	PMem	DIMM
6 - 6	PMem	DIMM	PMem	DIMM	PMem	DIMM	PMem	DIMM	PMem	DIMM	PMem	DIMM

表 9 第 2 世代 Intel® Xeon® スケーラブル プロセッサ DIMM および PMem¹ 物理構成

DIMM から PMem カウント	CPU 2											
	iMC1						iMC0					
	チャンネル 2		チャンネル 1		チャンネル 0		チャンネル 2		チャンネル 1		チャンネル 0	
	M2	M1	L2	L1	K2	K1	J2	J1	H2	H1	G2	G1
6 - 2		DIMM		DIMM	PMem	DIMM		DIMM		DIMM	PMem	DIMM
6 - 4		DIMM	PMem	DIMM	PMem	DIMM		DIMM	PMem	DIMM	PMem	DIMM
6 - 6	PMem	DIMM	PMem	DIMM	PMem	DIMM	PMem	DIMM	PMem	DIMM	PMem	DIMM

注：

- 現時点で PMem を使用する場合は、すべてのシステムに CPU を装着する必要があります。



注：DIMM と PMem を組み合わせる場合、CPU ごとに設定可能なメモリ構成は次の 3 通りです。構成は各 CPU で同一にする必要があります。

- 6 DIMM および 2 PMEM、または
- 6 DIMM および 4 PMEM、または
- 6 DIMM および 6 PMEM

詳細な Intel PMem の構成については、以下を参照してください。

[Cisco UCS C240 M5 サーバ設置およびサービス ガイド](#)

ステップ 5 ストレージコントローラを選択

ストレージコントローラのオプション (内蔵 HDD/SSD のサポート)



注: NVMe ドライブは、ストレージコントローラではなく CPU2 によって直接制御されます。

Cisco 12G SAS RAID コントローラ

Cisco 12G SAS RAID コントローラを選択し、専用の内部 RAID コントローラ カード スロットに装着できます。この RAID コントローラは、RAID 0、1、5、6、10、50、60、および JBOD モードをサポートします。



注: RAID コントローラごとにサポートされている RAID グループ (仮想ドライブ) の数は次のとおりです。

- Cisco 12G SAS RAID コントローラ = 64

Cisco 12G SAS HBA (内蔵 HDD/SSD/JBOD のサポート)

JBOD またはパススルーモードのサポートに SAS HBA を選択できます。

- Cisco 12G SAS HBA は専用のコントローラ スロットに装着できます。

RAID ボリュームと RAID グループ

RAID ボリュームを作成する場合は、次のガイドラインに従ってください。

- 各 RAID ボリューム内の各ドライブで同じ容量を使用します。
- Cisco 12G SAS RAID コントローラをアップグレードするには、各 RAID ボリューム内ですべて同じタイプのドライブ (SAS/SATA HDD、すべて SAS SSD、すべて SATA SSD) を使用します。

コントローラ オプションの選択

表 10 表 7 ハードウェア コントローラ オプション

製品 ID (PID)	PID の説明
内蔵ドライブ用コントローラ Cisco 12G SAS HBA コントローラを選択すると、専用の内蔵スロットに装着された状態で出荷される点に注意。	
UCSC-SAS-M5	Cisco 12G モジュラ SAS HBA (最大 16 ドライブ) <ul style="list-style-type: none"> ■ 内蔵 SAS/SATA SSD と HDD をサポート ■ JBOD モードのみをサポートします (RAID 機能なし)。SDS (ソフトウェアデファインドストレージ) に最適です。また、RAID コントローラが I/O ボトルネックになる可能性があるため、最大限の IOP (外部 SSD 接続用) を必要とするような環境にも最適です。
UCSC-RAID-M5	RHEL-SAPSS-3S <ul style="list-style-type: none"> ■ 最大 6 台の内蔵 SAS/SATA SSD と SAS/SATA HDD をサポート ■ RAID 0、1、5、6、10、50、60、および JBOD モードをサポートします。混合 RAID および JBOD モードの実行をサポートします。 ■ すべての自己暗号化ドライブ (SED) は、スタンドアロン管理 (CIMC/UCSM) のローカルキー設定および管理機能をサポートします。現在、SED ドライブはローカルキー管理機能のみで管理されます。サードパーティのキー管理は今後サポートされる予定です (KMIP 準拠)。
UCSC-SCAP-M5	1 GB Super Cap

動作確認済みの構成

- Cisco 12G SAS RAID コントローラのアップグレードオプションは、最大 6 台の内蔵ドライブと RAID 0、1、10、5、6、50、60、JBOD モードまでをサポートします。
- Cisco 12 Gbps SAS HBA は、JBOD をサポートする最大 6 台の内蔵ドライブをサポートします。

ステップ 6 ドライブを選択する

ディスクドライブの標準仕様は次のとおりです。

- 2.5 インチ スモール フォーム ファクタ
- ホットプラグ可能
- ドライブはスレッド マウントされた状態で提供

前面ドライブの選択

使用できるドライブを [表 11](#) に示します。

表 11 選択可能なホットプラグ可能スレッドマウント前面ドライブ

製品 ID (PID)	PID の説明	ドライブタイプ	容量
HDD			
HDD (15K RPM)			
UCS-HD300G15K12N	300 GB 12G SAS 15K RPM SFF HDD	SAS	300 GB
UCS-HD600G15K12N	600 GB 12G SAS 15K RPM SFF HDD	SAS	600 GB
UCS-HD900G15K12N	900 GB 12G SAS 15K RPM SFF HDD	SAS	900 GB
HDD (10K RPM)			
UCS-HD300G10K12N	300 GB 12G SAS 10K RPM SFF HDD	SAS	300 GB
UCS-HD600G10K12N	600 GB 12G SAS 10K RPM SFF HDD	SAS	600 GB
UCS-HD12TB10K12N	1.2 TB 12 G SAS 10K RPM SFF HDD	SAS	1.2 TB
UCS-HD18TB10K4KN ¹	1.8 TB 12G SAS 10K RPM SFF HDD (4K)	SAS	1.8 TB
UCS-HD24TB10K4KN	2.4 TB 12G SAS 10K RPM SFF HDD (4K)	SAS	2.4 TB
HDD (7.2K RPM)			
UCS-HD1T7K12N	1 TB 12G SAS 7.2K RPM SFF HDD	SAS	1 TB
UCS-HD2T7K12N	2 TB 12G SAS 7.2K RPM SFF HDD	SAS	2 TB
UCS-HD1T7K6GAN	1 TB 6G SATA 7.2K RPM SFF HDD	SAS	1 TB
SAS/SATA SSDs			
Enterprise Performance SSD (高耐久性、最大 3X DDPD (Drive Writes Per Day) 対応)²			
SATA SSD			
UCS-SD480G63X-EP	480 GB 2.5 インチ Enterprise Performance 6G SATA SSD (3 倍の耐久性) (Intel S4600)	SATA	480 GB
UCS-SD960G63X-EP	960 GB 2.5 インチ Enterprise Performance 6G SATA SSD (3 倍の耐久性) (Intel S4600)	SATA	960 GB
UCS-SD19T63X-EP	1.9TB 2.5 インチ Enterprise Performance 6G SATA SSD (3 倍の耐久性) (Intel S4600)	SATA	1.9 TB
UCS-SD480GM3X-EP	480GB 2.5 インチ Enterprise Performance 6GSATA SSD (3 倍の耐久性)	SATA	480 GB

表 11 選択可能なホットプラグ可能スレッドマウント前面ドライブ (続き)

製品 ID (PID)	PID の説明	ドライブタイプ	容量
UCS-SD960GM3X-EP	960GB 2.5 インチ Enterprise Performance 6GSATA SSD (3 倍の耐久性)	SATA	960 GB
UCS-SD19TM3X-EP	1.9TB 2.5 インチ Enterprise Performance 6GSATA SSD (3 倍の耐久性)	SATA	1.9 TB
Enterprise Value SSD (一般耐久性、最大 1X DWPD (Drive Writes Per Day) 対応)³			
SAS SSD			
UCS-SD480G121X-EV	480 GB 2.5 インチ Enterprise Value 12G SAS SSD (Toshiba PM4)	SAS	480 GB
UCS-SD960GK1X-EV	960 GB 2.5 インチ Enterprise Value 12G SAS SSD	SAS	960 GB
UCS-SD19TK1X-EV	1.9 TB 2.5 インチ Enterprise Value 12G SAS SSD	SAS	1.9 TB
UCS-SD38TK1X-EV	3.8 TB 2.5 インチ Enterprise Value 12G SAS SSD	SAS	3.8 TB
UCS-SD76TK1X-EV	7.6 TB 2.5 インチ Enterprise Value 12G SAS SSD	SAS	7.6 TB
UCS-SD15TK1X-EV	15.3 TB 2.5 インチ Enterprise Value 12G SAS SSD	SAS	15.3 TB
SATA SSD			
UCS-SD120GM1X-EV	120 GB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD (Micron 5100 MAX)	SATA	120 GB
UCS-SD240GM1X-EV	240 GB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD (Micron 5100 PRO)	SATA	240 GB
UCS-SD480GM1X-EV	480 GB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD (Micron 5100 PRO)	SATA	480 GB
UCS-SD960G61X-EV	960 GB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD (Samsung PM863A)	SATA	960 GB
UCS-SD960GM1X-EV	960 GB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD (Micron 5100 PRO)	SATA	960 GB
UCS-SD16TM1X-EV	1.6 TB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD (Micron 5100 MAX)	SATA	1.6 TB
UCS-SD19T61X-EV	1.9 TB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD (Samsung PM863A)	SATA	1.9 TB
UCS-SD38T61X-EV	3.8 TB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD (Samsung PM863A)	SATA	3.8 TB
UCS-SD76T61X-EV	7.6 TB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD	SATA	7.8 TB
UCS-SD19TM1X-EV	1.9 TB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD (Micron 5100 ECO)	SATA	1.9 TB
UCS-SD38TM1X-EV	3.8 TB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD (Micron 5100 ECO)	SATA	3.8 TB
UCS-SD76TM1X-EV	7.6 TB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD (Micron 5100 ECO)	SATA	7.6 TB
UCS-SD480G611X-EV	480GB 2.5 inch Enterprise Value 6G SATA SSD (Intel S4500)	SATA	480 GB
UCS-SD960G611X-EV	960GB 2.5 inch Enterprise Value 6G SATA SSD (Intel S4500)	SATA	960 GB
UCS-SD38T611X-EV	3.8TB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD (Intel S4500)	SATA	3.8 TB
UCS-SD960G6S1X-EV	960 GB 2.5 インチ Enterprise Value 6 G SATA SSD	SATA	960 GB
UCS-SD19T6S1X-EV	1.9 TB 2.5 インチ Enterprise Value 6 G SATA SSD	SATA	1.9 TB
UCS-SD38T6S1X-EV	3.8 TB 2.5 インチ Enterprise Value 6 G SATA SSD	SATA	3.8 TB
UCS-SD76T6S1X-EV	7.6TB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD	SATA	7.6 TB
自己暗号化ドライブ (SED)⁴			
HDD			
UCS-HD600G15NK9	600 GB 12G SAS 15K RPM SFF HDD (SED)	SAS	600 GB
UCS-HD12T10NK9	1.2 TB 12G SAS 10K RPM SFF HDD (SED)	SAS	1.2 TB
UCS-HD24T10NK9	2.4 TB 12G SAS 10K RPM SFF HDD (4K) SED	SAS	2.4 TB

表 11 選択可能なホットプラグ可能スレッドマウント前面ドライブ (続き)

製品 ID (PID)	PID の説明	ドライブタイプ	容量
SSD			
UCS-SD960G2HTNK9	960 GB 2.5 インチ Enterprise Value 12G SAS SSD (SED) FIPS140-2	SAS	960 GB
UCS-SD800GBHKNK9	800 GB Enterprise performance SAS SSD (10X DWPD、SED)	SAS	800 GB
UCS-SD800GBKKNK9	800GB Enterprise performance SAS SSD (3X DWPD、SED)	SAS	800 GB
UCS-SD960GBKKNK9	960GB Enterprise Value SAS SSD (1X DWPD、SED)	SAS	960 GB
UCS-SD38TBKKNK9	3.8TB Enterprise Value SAS SSD (1X DWPD、SED)	SAS	3.8 TB
UCS-SD16TBKKNK9	1.6TB Enterprise performance SAS SSD (3X DWPD、SED)	SATA	1.6 TB
PCIe/NVMe SFF 2.5 インチ ドライブ⁵			
UCSC-NVME2H-I1000	Cisco 2.5 インチ U.2 1.0 TB Intel P4500 NVMe High Perf. バリュースタビリティ	NVMe	1 TB
UCSC-NVME2H-I2TBV	U.2 2 TB Intel P4510 NVMe High Perf バリュースタビリティ	NVMe	2 TB
UCSC-NVME2H-I4000	Cisco 2.5 インチ U.2 4.0 TB Intel P4510 NVMe High Perf. バリュースタビリティ	NVMe	4 TB
UCSC-NVMEHW-I8000	Cisco 2.5 インチ U.2 8 TB Intel P4510 NVMe High Perf. バリュースタビリティ	NVMe	8 TB
UCSC-NVME2H-I1600	Cisco 2.5 インチ U.2 1.6 TB Intel P4600 NVMe High Perf. 高耐久性	NVMe	1.6 TB
UCSC-NVME2H-I3200	Cisco 2.5 インチ U.2 1.6 TB Intel P4600 NVMe High Perf. 高耐久性	NVMe	3.2 TB
UCSC-NVMI375	375GB 2.5 インチ Intel Optane NVMe Extreme Perf.	NVMe	3.75 GB
UCSC-NVMEXP-I750	750GB 2.5 インチ Intel Optane NVMe Extreme Perf	NVMe	750 GB
注：シスコではさまざまなベンダーのソリッドステートドライブを使用しています。すべてのソリッドステートドライブは、物理的な書き込み制限の影響を受け、製造元によって設定された最大使用制限仕様が異なります。シスコでは、シスコまたは製造元によって設定された最大使用制限仕様を超えたソリッドステートドライブをシスコ単独の判断では交換しません。			

注：

- 4K セクター サイズのドライブでサポートされるオペレーティング システムは以下のとおりです。
 - Windows: Win2012、Win2012R2 および Win2016
 - Linux : RHEL 6.5/6.6/6.7/7.0/7.2/7.3 SLES 11 SP3 および SLES 12
 - 512E ドライブをサポートするには、VMware ESXi 6.5 以降が必要です。4Kn ドライブをサポートするには、VMware ESXi 6.7 以降が必要です。
 - UEFI モードは 4K セクターサイズドライブからの起動時に使用する必要があります (レガシーモードはサポートされていません)。
 - 4K セクターサイズドライブと 512 バイト セクター サイズ ドライブを同じ RAID ボリュームに配置しないでください。
- 書き込み中心の IO アプリケーション向け。SSD 寿命目安は、10 または 3 DWPD (Drive Writes Per Day) レベルです。対象アプリケーションの例としては、キャッシング、オンライントランザクション処理 (OLTP)、データウェアハウス、および仮想デスクトップ インフラストラクチャ (VDI) などがあります。
- 読み取り中心の IO アプリケーション向け。SSD 寿命目安は、1 DWPD (Drive Writes Per Day) レベルです。対象アプリケーションの例としては、ブート、メディア ストリーミング、コラボレーションなどがあります。
- すべての自己暗号化ドライブ (SED) は、スタンドアロン管理 (CIMC) と UCSM のローカルキー設定および管理機能をサポートします。SED ドライブはローカルおよびリモートのキー管理 (サードパーティのキー管理) で管理できます。
- 任意の数の SFF NVMe PCIe SSD ドライブを含めるには、2 つの CPU を装着する必要があります。

注意事項

- 2.5 インチ SFF NVMe ドライブは CPU に直接接続され、Cisco 12G SAS HBA コントローラで管理されることはありません。
- すべての HDD が独自の RAID ボリューム内にあり、すべての SSD も独自の RAID ボリューム内にある場合は、HDD と SSD を混在可能です。
- Cisco 12G SAS RAID コントローラを使用する場合は、SAS HDD と SAS/SATA SSD を混在可能です。
- SFF NVMe ドライブを選択する場合は、2 つの CPU を選択する必要もあります。
- HGST ドライブと Intel NVMe ドライブの混在はサポートされません。
- SFF NVMe ドライブは UEFI モードの場合のみブート可能です。
- SED ドライブは、次の表の非 SED ドライブと混在可能です：[表 11 \(28 ページ\)](#)

Intel® Virtual RAID on CPU (intel® VROC)

サーバーは Intel® Virtual RAID on CPU (Intel® VROC) をサポートしています。VROC は、Intel NVMe SSD で使用されるエンタープライズ RAID ソリューションです (サポートされている Intel NVMe SSD については、[表 11](#) を参照)。Intel® Volume Management Device (Intel® VMD) は、CPU PCIe ルート コンプレックスに統合されたコントローラです。Intel® VMD NVMe SSD は CPU に接続されるため、高速な Intel® Optane™ SSD の潜在的なパフォーマンスを最大限に引き出すことができます。Intel® VROC の実装により、ドライブと CPU の間に配置される、従来のハードウェア RAID ホスト バス アダプタ (HBA) カードが置き換えられます。



注：

- Intel® VROC は Intel ドライブでのみサポートされています
- Intel® VROC イネーブルメント キー ファクトリは BIOS に事前にプロビジョニングされています。追加のライセンスは必要ありません。

VROC には次の特徴があります。

- スモール フォーム ファクタ (SFF) ドライブ (のみ) のサポート
- バッテリ バックアップ (BBU) または外部のスーパー キャパシタは必要ありません
- インテル CPU に直接接続されたインテル SFF NVMe を利用したソフトウェアベースのソリューション
- RAID 0/1/5/10 のサポート
- Windows、Linux、VMware OS のサポート。
- ホスト ツール - Windows GUI/CLI、Linux CLI。
- UEFI サポート - HII ユーティリティ、OBSE。
- Intel VROC NVMe は UEFI モードでのみ動作します

詳細については、[Intel NVMe SSD の VROC の設定と管理に関する説明](#) を参照してください。

ステップ 7 PCIe オプション カードを選択する

最新のサーバー互換性については、<https://ucshcltool.cloudapps.cisco.com/public/>にあるハードウェアとソフトウェアの互換性リスト (HCL) を確認してください。

標準搭載される PCIe カードは、次のとおりです。

- モジュール型 LAN on Motherboard (mLOM)
- 仮想インターフェイスカード (VIC)
- ネットワーク インターフェイス カード (NIC)

PCIe オプション カードを選択する

使用可能な PCIe オプション カードを [表 12](#) に示します。

表 12 使用可能な PCIe オプション カード

製品 ID (PID)	PID の説明	カードの高さ	電気スロット
モジュール型 LAN on Motherboard (mLOM)			
UCSC-MLOM-C100-04	Cisco UCS VIC 1497 MLOM - デュアル ポート 40/100G QSFP28	mLOM	x16
UCSC-MLOM-C25Q-04	Cisco UCS VIC 1457 クアッド ポート 25G SFP28 mLOM	mLOM	x16
仮想インターフェイス カード (VIC)			
UCSC PCIE C100 04	Cisco VIC 1495 PCIe デュアル ポート 40/100G QSFP28	1 または 2	x16
UCSC-PCIE-C25Q-04	Cisco VIC 1455 VIC PCIE - クアッド ポート 10/25G SFP28	1 または 2	x16
ネットワーク インターフェイス カード (NIC)			
1 Gb NIC			
UCSC-PCIE-IRJ45	Intel i350 クアッドポート 1Gb アダプタ	1 または 2	x8
10 Gb NIC			
UCSC-PCIE-ID10GF	Intel X710-DA2 デュアル ポート 10Gb SFP+ NIC	1 または 2	x8
UCSC-PCIE-IQ10GF	Intel X710 クアッド ポート 10Gb SFP+ NIC	1 または 2	x8
25 Gb NIC			
UCSC-PCIE-ID25GF	Intel XXV710 デュアル ポート 25Gb SFP28 NIC	1 または 2	x8
UCSC-P-M5D25GF	Mellanox MCX4121A-ACAT デュアル ポート 10/25G SFP28 NIC	1 または 2	x8
UCSC-PCIE-QD25GF	QLogic QL41212H デュアル ポート 25Gb NIC	1 または 2	x8
100 Gb NIC			
UCSC-P-M5D100GF	Mellanox CX-5 MCX516A-CDAT 2x100GbE QSFP PCIe NIC	1 または 2	x16

注意事項

- 1 CPU システムの場合 :

- ライザー 1 を搭載したシステムの場合、PCIe ライザー 1 の PCIe スロット 1 および 2 (下部 2 スロット) のみが 1 CPU システムで使用できます。ライザー 1 は、サーバの背面から見て左側にあります。
- ライザー 1C および 2E を搭載したシステムでは、ライザー 1C の PCIe スロット 1 (下部スロット) のみが 1 CPU システムで使用できます。ライザー 1C は、サーバの背面から見て左側にあります。
- 1 CPU システムではライザー 2 の PCIe スロットはサポートされません。ライザー 2 には PCIe スロット 4、5、6 があります。これらのスロットは、サーバの背面から見ると右側にあります。スロット 4 は一番下のスロットです。ライザー 2E には PCIe2 (下部スロット) があります。
- 1 CPU システムでは 1 枚のプラグイン PCIe VIC カードのみ装着できます。これはライザー 1 のスロット 2 に装着する必要があります。
- mLOM VIC カードをシャーシ内の mLOM スロットに装着するように選択することも可能です。これにより、2 枚の VIC カードを同時に使用できます。GPU を選択した場合は、GPU をスロット 2 に装着する必要があります。プラグインカードと mLOM VIC カードの選択については、[表 12 \(32 ページ\)](#) を参照してください。[表 1 \(7 ページ\)](#) および [ライザーカードの設定とオプション \(72 ページ\)](#) の PCIe スロットの物理的な説明も参照してください。

■ 2 CPU システムの場合：

- ライザー 1/2B の組み合わせの場合、6 つの PCIe スロットを使用できます。PCIe ライザー 1 で 3 つ (PCIe スロット 1、2、3)、PCIe ライザー 2B で 3 つ (PCIe スロット 4、5、6) です。
- ライザー 1C / 2E の組み合わせでは、1C の下部スロット (PCIe1) と 1E の下部スロット (PCIe2) を使用できます。
- スロット 2 および 5 を使用して、2 枚のプラグイン PCIe VIC カードをデュアル CPU システムに装着できます。さらに、mLOM VIC カードをシャーシ内の mLOM スロットに装着するように選択することも可能です。これにより、3 枚の VIC カードを同時に使用できます。プラグインカードと mLOM VIC カードの選択については、[表 12 \(32 ページ\)](#) を参照してください。PCIe スロットの物理的な説明については、[表 1 \(7 ページ\)](#) と [ライザーカードの設定とオプション \(72 ページ\)](#) も参照してください。
- GPU がスロット 2 (ライザー 1 または 1B) と 5 (ライザー 2A または 2B) に装着されている場合は、NCSI 機能は自動的に、スロット 1 (ライザー 1 または 1B) と 4 (ライザー 2A または 2B) に切り替わります。したがって GPU がスロット 2 と 5 に装着されている場合、Cisco PCIe VIC はスロット 1 と 4 に装着できます。2 基の GPU 構成では、GPU をスロット 2 および 5 に装着します。そのため、それらのスロットに VIC カードは装着できません。



注：注：UCSM で管理するサーバが正しく検出されるようにするには、VIC をスロット 2 に装着するか、VIC を mLOM スロットに装着する必要があります。2 基の GPU を搭載する場合は、スロット 2 と 5 に配置する必要があります。したがって、2 基の GPU が搭載されている場合、VIC を mLOM スロットに装着した場合にのみ UCSM で管理するサーバが検出されます。

- このサーバでは、最大 2 つの PCIe Cisco VIC と MLOM VIC がサポートされますが、
シングルワイヤ管理は一度に 1 つの VIC でのみサポートされます。サーバに複数の VIC を装着する場合は、1 個のロットでのみ NCSI が有効になります。シングルワイヤ管理の場合、NCSI 管理トラフィックには mLOM スロットが優先され、次にロット 2、ロット 5 の順に使用されます。複数のカードを装着する場合は、上記の優先順位でシングルワイヤ管理ケーブルを接続します。
- 選択したカードにオペレーティングシステムが対応しているかどうか、またシスコ価格表に記載されていない追加カードが UCS C240 SD M5 サーバに対応するかどうかを確認するには、次のハードウェア互換性リストを参照してください。

URL : http://www.cisco.com/en/US/products/ps10477/prod_technical_reference_list.html

2 CPU の PCIe カード構成

次の表は、選択した PCIe カードに適したスロットを見つけるのに役立ちます。

表 13 2 CPU の PCIe カード構成

PCIe カード タイプ	プライマリ スロット	セカンダリ スロット	代替スロット
Cisco 12G モジュラ RAID コントローラ	ミッドプレーン スロット	なし	
Cisco 12G 9460-8i RAID コントローラ	10	なし	
PCIe スイッチ カード	10	なし	
Cisco x16 VIC (Cisco VIC 1385)	1	2	8、5
Nvidia	2	8	10、1
その他の 16x PCIe I/O カード	8	10	2、1
その他の 8x PCIe I/O カード	9	5	8、2、10、1
Cisco x16 VIC	1	2	8



注：

- VIC がない場合のみスロット 1
- 設定に VIC がない場合、GPU プライマリ スロットは 1
- まず VIC が優先され、次に GPU が優先されます。
- プライマリ スロットは最優先事項です。
- セカンダリ スロットは同じタイプの追加カード用で、記載されている順序に従います。
- 代替スロットも使用できますが、機能は制限されています。

ステップ 8 オプションの PCIe オプションカードアクセサリを選択する

- これらの光ファイバおよびケーブルは、互換性がテストされており、Intel® Ethernet Network Adapter での使用が承認されています（この文書の発行時点）。最新のアップデートについては、<https://tmgmatrix.cisco.com> で Cisco 互換性マトリックスを確認して参照してください。
- VIC 1495 と VIC 1497 でサポートされる光ファイバおよびケーブルの一覧については、次のリンクにある VIC 1400 シリーズのデータシートを参照してください。
 - <https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/interfaces-modules/unified-computing-system-adapters/datasheet-c78-741130.html>
- Intel X710 NIC アダプタは次の Cisco 光トランシーバ製品として SFP-10G-SR と SFP-10G-SR-S をサポートします（PID）。
- Intel XXV710 デュアルポート 25Gb SFP28 でサポートされる SFP については、以下のリンクを参照してください。
 - <https://www.cisco.com/c/dam/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/intel-xxv710-dual-port-25g-product-brief.pdf>

シスコのケーブルおよび光ファイバとの NIC の相互運用性については [表 14](#)、[表 15](#)、および [表 16](#) を参照してください。

NIC と Intel ケーブル / 光ファイバの相互運用性については、[表 17](#) を参照してください。

表の結果は、Cisco Transceiver Module Group (TMG) およびベンダーによって実施されたテストに基づいています。

表 14 10G NIC と Cisco ケーブル / 光ファイバの相互運用性

Cisco 製品 ID (PID)	UCSC- PCIE-ID10GF	UCSC- PCIE-ID10GF
シスコ直接接続ケーブル (DAC)		
SFP-H10GB-CU1M	✓	✓
SFP-H10GB-CU3M	✓	✓
SFP-H10GB-CU5M	✓	✓
SFP-H10GB-ACU7M	✓	✓
SFP-H10GB-ACU10M	✓	✓
SFP-10G-AOC1M	✓	✓
SFP-10G-AOC2M	✓	✓
SFP-10G-AOC3M	✓	✓
SFP-10G-AOC5M	✓	✓
SFP-10G-AOC7M	✓	✓
SFP-10G-AOC10M	✓	✓
UTP/RJ45		

表 14 10G NIC と Cisco ケーブル / 光ファイバの相互運用性 (続き)

Cisco 製品 ID (PID)	UCSC- PCIE-ID10GF	UCSC- PCIE-ID10GF
シスコ光トランシーバ		
SFP-10G-SR	✓	✓
SFP-10G-SR-S	✓	✓
SFP-10G-LR	✓	✓
SFP-10G-LR-S	✓	✓
UCS-SFP-1WSR		
UCS-SFP-1WLR		
GLC-LH-SMD		✓
GLC-SX-MMD	✓	✓

表 15 NIC とシスコケーブル / 光ファイバの相互運用性

シスコ製品 ID (PID)	UCSC-PCIE-ID25GF	UCSC-P-M5D25GF	UCSC-PCIE-QD25GF
シスコ直接接続ケーブル (DAC)			
SFP-H10GB-CU1M	✓	✓	
SFP-H10GB-CU3M	✓	✓	
SFP-H10GB-CU4M		✓	
SFP-H10GB-CU5M	✓	✓	
SFP-H10GB-ACU7M	✓	✓	
SFP-H10GB-ACU10M	✓	✓	
SFP-10G-AOC1M	✓		
SFP-10G-AOC2M	✓		
SFP-10G-AOC3M	✓		
SFP-10G-AOC5M	✓		
SFP-10G-AOC7M	✓		
SFP-10G-AOC10M	✓	✓	
SFP-H25G-QSFP-4X10G-AOC10M		✓	
SFP-25G-AOC1M	✓		✓
SFP-25G-AOC2M	✓		✓
SFP-25G-AOC3M	✓		✓

表 15 NIC とシスコケーブル / 光ファイバの相互運用性 (続き)

シスコ製品 ID (PID)	UCSC-PCIE-ID25GF	UCSC-P-M5D25GF	UCSC-PCIE-QD25GF
SFP-25G-AOC4M	✓		✓
SFP-25G-AOC5M	✓	✓	✓
SFP-25G-AOC7M	✓	✓	✓
SFP-25G-AOC10M			✓
QSFP-4SFP25G-CU3M	✓		
SFP-H25G-CU1M	✓	✓	
SFP-H25G-CU2M	✓	✓	
SFP-H25G-CU2.5M		✓	
SFP-H25G-CU3M	✓	✓	
SFP-H25G-CU4M		✓	
SFP-H25G-CU5M	✓	✓	
シスコ光トランシーバ			
SFP-10G-SR	✓	✓	
SFP-10G-SR-S	✓		
SFP-10G-LR	✓	✓	
SFP-10G-LR-S	✓		
SFP-25G-SR-S	✓	✓	
SFP-10/25G-LR-S		✓	

表 16 100G NIC と Cisco ケーブル / 光ファイバの相互運用性

シスコ製品 ID (PID)	UCSC-P-M5D100GF
シスコ直接接続ケーブル (DAC)	
QSFP-100G-AOC5M	✓
QSFP-100G-AOC7M	✓
QSFP-100G-AOC10M	✓
QSFP-100G-CU3M	✓
QSFP-100G-CU5M	✓
シスコ光トランシーバ	
QSFP-100G-LR4-S	✓

表 16 100G NIC と Cisco ケーブル / 光ファイバの相互運用性 (続き)

QSFP-100G-SR4-S	✓
QSFP-40/100-SRBD	✓

表 17 NIC と Intel ケーブル / 光ファイバの相互運用性

Intel 製品 ID (PID)	UCSC-PCIE-ID10GF	UCSC-PCIE-IQ10GF
Intel 直接接続ケーブル (DAC)		
XDACBL1M	✓	✓
XDACBL3M	✓	✓
XDACBL5M	✓	✓
Intel 光トランシーバ		
E10GSFPSR	✓	✓
E10GSFPLR	✓	✓

その他の接続オプションについては、次のリンクを参照してください。

- Intel
 - [製品ガイド](#)
 - [速度に関するホワイトペーパー \[英語\]](#)
- Marvell/Qlogic
 - [41000 シリーズ相互運用性マトリックス \[英語\]](#)
 - [45000 シリーズ相互運用性マトリックス \[英語\]](#)
- Mellanox
 - [ファームウェア リリース ノート \[英語\]](#)

ステップ 9 GPU カードを選択する (オプション)、ページ

GPU オプションの選択

使用可能な GPU PCIe オプションを [表 18](#) に示します

表 18 選択可能な PCIe GPU カード

製品 ID (PID)	PID の説明	カード サイズ	ノードあたりの最大カード数
GPU PCIe カード			
UCSC-GPU-T4-16 ¹	NVIDIA T4 PCIE 75W 16GB	ロー プロファイル シングル幅	2

注:

1. 詳細については、「[C240 M5 の GPU カードの取り付け](#)」を参照してください。



注:

- CIMC および UCSM 管理では固有の SBIOS ID が必要になるため、GPU カードはすべてシスコから購入してください。
- GPU がインストールされていて、NVMe サポートが必要な場合は、2 つの CPU を搭載することを推奨します。
- 2 つの GPU が取り付けられている場合は、サーバに 2 つの電源が必要です。1 つの GPU が取り付けられている場合、選択したオプション (CPU、ドライブ、メモリなど) に応じて必要な電力を計算するには、次のリンクにある電力計算ツールを使用してください。

<http://ucspowercalc.cisco.com> [英語]

注意事項

- 現在、T4 GPU のみがサポートされています。
- ライザーの組み合わせ 1 / 2B ([図 2](#)、[5 ページ](#)) を参照) の場合、ライザー カード 1 のスロット 2 が最初の GPU に必要なスロットで、ライザー カード 1B のスロット 5 が 2 番目の GPU に必要なスロットです。
- ライザーの組み合わせ 1C / 2E ([図 3](#)、[6 ページ](#)) を参照) の場合、ライザー カード 1C のスロット 1 が最初の GPU に必要なスロットで、ライザー カード 2E のスロット 2 が 2 番目の GPU に必要なスロットです。

GPU カードの PCIe スロットの使用方法については、[表 19](#) を参照してください。

表 19 ライザー 1/2B とライザー 1C/2E の組み合わせでの PCIe スロットの使用

ライザーの 組み合わせ	使用可能なライザー スロットの合計		使用可能な GPU 向けライザー スロット	
	1 CPU システム	2 CPU システム	1 CPU システム	2 CPU システム
1/2B	スロット 1 および 2	スロット 1、2、3、4、5、6	スロット 2	スロット 2 および 5
1C/2E	スロット 1	スロット 1 および 2	スロット 1	スロット 1 および 2



注:

- UCSM で管理するサーバが正しく検出されるようにするには、PCIe VIC カードをスロット 2 に装着するか、mLOM VIC カードを mLOM スロットに装着する必要があります。2 基の GPU を搭載する場合は、スロット 2 と 5 に配置する必要があります。したがって、2 基の GPU が搭載されている場合、VIC を mLOM スロットに装着した場合にのみ UCSM で管理するサーバが検出されます。
- ライザー カードのオプションの詳細については、次を参照してください：[ライザー カードの設定とオプション \(72 ページ\)](#)

ステップ 10 電源ユニットを注文する

電源ユニットは、M5 C シリーズ サーバへのホットプラグおよび工具不要の装着が可能な、共通の電気および物理設計を使用しています。各電源ユニットは、高効率の動作が保証されており、複数の出力オプションを提供します。このため、ユーザーはサーバ構成に基づいて「適切なサイズ」を選択でき、電力効率を向上させ、全体的なエネルギー コストを削減し、データセンター内での不必要な電力消費を回避できます。選択したオプション (CPU、ドライブ、メモリなど) に応じて必要な電力を計算するには、次のリンクにある電力計算ツールを使用してください。

<http://ucspowercalc.cisco.com>

表 20 電源モジュール

製品 ID (PID)	PID の説明
UCSC-PSUF-1050W	UCSC 1050W SD 用電源
UCSC-PSUF-1050WDC	UCSC 1050WDC SD 用電源



注：サーバで 2 台の電源ユニットを使用する場合は、両方の電源ユニットが同一仕様である必要があります。



注：GPU が取り付けられている場合は、2 つの電源が必要です。

ステップ 11 入力電源コードを選択する

表 21 から適切な AC 電源コードを選択します。電源コードは最大 2 本選択できます (省略可)。オプションの R2XX-DMYMPWRCORD を選択した場合、サーバに電源コードは付属しません。

表 21 使用可能な電源コード

製品 ID (PID)	PID の説明	イメージ
R2XX-DMYMPWRCORD	電源コードなし (電源コードを選択しない場合のダミー PID)	該当なし
電源ケーブルなし	環境に優しいグリーン オプション、電源ケーブルは出荷されません	該当なし
CAB-48DC-40A-8AWG	C シリーズ -48VDC PSU 電源コード、3.5 m、3 ワイヤ、8AWG、40A	
CAB-N5K6A-NA	電源コード、200/240 V 6 A (北米)	
CAB-AC-L620-C13	AC 電源コード、NEMA L6-20 - C13、2 m/6.5 フィート	
CAB-C13-CBN	CABASY、ワイヤ、ジャンパコード、27 インチ L、C13/C14、10A/250V	
CAB-C13-C14-2M	CABASY、ワイヤ、ジャンパコード、PWR、2 m、C13/C14、10A/250V	

表 21 使用可能な電源コード

製品 ID (PID)	PID の説明	イメージ
CAB-C13-C14-AC	CORD,PWR,JMP,IEC60320/C14,IEC60320/C13, 3.0M	
CAB-250V-10A-AR	電源コード、250 V、10 A (アルゼンチン仕様)	
CAB-9K10A-AU	電源コード、250 VAC、10 A、3112 プラグ (オーストラリア)	
CAB-250V-10A-CN	AC 電源コード、250 V、10 A (中国)	
CAB-9K10A-EU	電源コード、250 VAC、10 A、CEE 7/7 プラグ (EU)	
CAB-250V-10A-ID	電源コード、SFS、250 V、10 A (インド仕様)	
CAB-250V-10A-IS	電源コード、SFS、250 V、10 A (イスラエル仕様)	

表 21 使用可能な電源コード

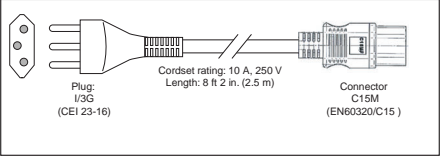
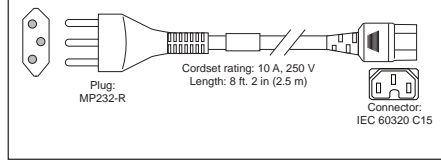
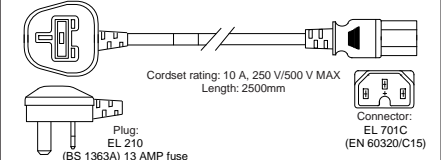
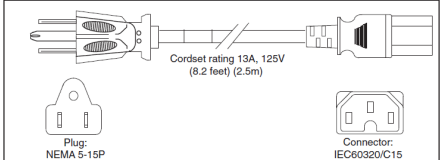
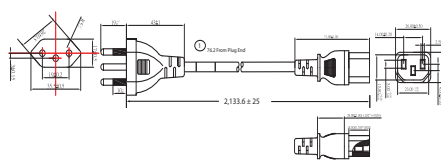
製品 ID (PID)	PID の説明	イメージ
CAB-9K10A-IT	電源コード、250 VAC、10 A、CEI 23-16/VII プラグ (イタリア)	
CAB-9K10A-SW	電源コード、250 VAC 10 A MP232 プラグ (スイス仕様)	
CAB-9K10A-UK	電源コード、250 VAC、10 A、BS1363 プラグ (13 A ヒューズ) (英国)	
CAB-9K12A-NA ¹	電源コード、125 VAC、13 A、NEMA 5-15 プラグ (北米)	
CAB-250V-10A-BR	電源コード、250 V、10 A (ブラジル)	
CAB-C13-C14-2M-JP	電源コード C13-C14、2 m (6.5 フィート)、日本 PSE マーク	図なし
CAB-9K10A-KOR ¹	電源コード、125 VAC 13 A KSC8305 プラグ (韓国)	図なし
CAB-ACTW	AC 電源コード (台湾)、C13、EL 302、2.3 m	画像なし
CAB-JPN-3PIN	日本仕様、90-125 VAC 12 A NEMA 5-15 プラグ、2.4 m	画像なし
CAB-48DC-40A-INT	-48VDC PSU 電源コード、3.5 m、3 ワイヤ、8AWG、40A (INT)	画像なし

表 21 使用可能な電源コード

製品 ID (PID)	PID の説明	イメージ
CAB-48DC-40A-AS	-48VDC PSU 電源コード、3.5 m、3 ファイヤ、8AWG、40A (AS/NZ)	画像なし
CAB-C13-C14-IN	電源コード ジャンパ、C13-C14 コネクタ、長さ 1.4 m、インド	画像なし
CAB-C13-C14-3M-IN	電源コード ジャンパ、C13-C14 コネクタ、長さ 3 m、インド	画像なし

注：

1. この電源コードは定格が 125 V で、定格 1050 W 以下の PSU のみをサポートします。

ステップ 12 工具不要レール キットとレール エクステンダ キットを注文する

工具不要レール キットを選択する

表 22 から工具レス レール キットを選択します。

表 22 工具不要レール キットのオプション

製品 ID (PID)	PID の説明
UCSC-RAILS-M5	C240M5 SD ラック サーバ用ボール ベアリング レール キット
UCSC-RAIL-NONE	No rail kit option

工具不要レールキットの詳細については、次の URL の Cisco UCS C240 M5 SD 設置およびサービスガイドを参照してください。

http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/unified_computing/ucs/c/hw/c240sdm5/install/c240sdm5.html



注： UCS C240 M5 サーバをラックにマウントする場合は、工具不要レール キットを選択する必要があります。同じレール キットが C240 M4 M5 および C240 SD M5 サーバに使用されます。

レール エクステンダ キットの選択

2 支柱ラックに取り付ける場合は、表 23 からレール エクステンダ キットを選択する必要があります。

表 23 レール エクステンダ キット オプション

製品 ID (PID)	PID の説明
UCSC-C240SD-EXT	UCS C240 SD M5 エクステンダ キット

ステップ 13 管理設定を選択する (オプション)

C240 M5 サーバの NIC モードは、デフォルトで [共有 LOM 拡張 (Shared LOM Extended)] に設定されます。この NIC モードでは、Cisco Integrated Management Controller (CIMC) へのアクセスに、任意の LOM ポートまたはアダプタカードポートを使用できます。Cisco VIC カードは、NCSI がサポートされているスロットに装着する必要があります。

デフォルトの NIC モードを Dedicated に変更するには、[表 24](#) に示す UCSC-DLOM-01 型番を選択します。Dedicated NIC モードでは、専用の管理ポートを介してのみ CIMC にアクセスできます。管理ポートの位置については、[シャーシの背面図 \(6 ページ\)](#) を参照してください。

デフォルトの NIC モードを [Cisco カードモード (Cisco Card Mode)] に変更するには、[表 24](#) に示す PID UCSC-CCARD-01 を選択します。このモードでは、DHCP を使用して CIMC に IP アドレスを割り当てます。それ以降の導入作業は自動化されます。

すべての NIC モード設定の詳細については、以下を参照してください。

https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/unified_computing/ucs/c/hw/C480M5/install/C480M5/C480M5_chapter_010.html#concept_rqj_vsr_fz

表 24 管理設定の選択情報

製品 ID (PID)	PID の説明
UCSC-DLOM-01	C シリーズ サーバ用専用モード BIOS 設定
UCSC-CCARD-01	C シリーズ サーバ用 Cisco カードモード BIOS 設定

ステップ 14 サーバブートモードを選択する (オプション)

デフォルトでは、C220 M5 サーバはデフォルトブートモードとして UEFI を選択した状態で出荷されます。サーバがレガシー BIOS モード (M4 以前の世代のサーバでは標準) で出荷されるようにするには、[表 25](#) のレガシー BIOS の PID を選択します。

表 25 サーバのブートモードの選択情報

製品 ID (PID)	PID の説明
UCSC-LBIOS-01	C シリーズ サーバ用レガシーブートモード BIOS 設定

ステップ 15 セキュリティ デバイスを選択する (オプション)

トラステッド プラットフォーム モジュール (TPM) は、プラットフォーム (サーバ) の認証に使用される情報を安全に格納できるコンピュータ チップ (マイクロコントローラ) です。これらのアーティファクトには、パスワード、証明書、または暗号キーを収録できます。プラットフォームが信頼性を維持していることを確認するうえで効果的なプラットフォームの尺度の保存でも、TPM を使用できます。すべての環境で安全なコンピューティングを実現するうえで、認証 (プラットフォームがその表明どおりのものであることを証明すること) および立証 (プラットフォームが信頼でき、セキュリティを維持していることを証明するプロセス) は必須の手順です。

シャーシ侵入スイッチは、サーバに対して不正アクセスがあった場合に通知します。

セキュリティ デバイスの選択情報は、[表 26](#) に示されています。

表 26 セキュリティ デバイス

製品 ID (PID)	PID の説明
UCSX-TPM2-002	UCS サーバ用トラステッド プラットフォーム モジュール 2.0
UCSX-TPM2-002B	FIPS サーバ用トラステッド プラットフォーム モジュール 2.0
UCSC-INT-SW01	C220 M5 および C240 SD M5 シャーシ侵入スイッチ



注:

- このシステムで使用される TPM モジュールは、信頼されたコンピューティンググループ (TCG) で定義されている TPM v1.2 および 2.0 に準拠しています。また SPI にも準拠しています。
- TPM の取り付けは、工場出荷後にサポートされます。ただし、TPM は一方向ネジで取り付けられるため、交換したり、アップグレードしたり、別のサーバに取り付けたりすることはできません。TPM を取り付けしたサーバを返却する場合は、交換用サーバを新しい TPM とともにオーダーする必要があります。

ステップ 16 CISCO SD カードモジュールを選択する (オプション)

一致する 1 枚か 2 枚の SD カードを選択します。SD モジュールを収容するミニ ストレージ モジュール コネクタの位置については、[図 6、\(68 ページ\)](#) を参照してください。各 SD モジュールには 2 枚の SD カードが収容されます。

表 27 セキュア デジタル (SD) カード (空)

製品 ID (PID)	PID の説明
UCS-SD-128G	UCS サーバ用 128 GB SD カード
UCS-SD-64G-S	UCS サーバ用 64 GB SD カード
UCS-SD-32G-S	UCS サーバ用 32 GB SD カード

注意事項

- 1 枚または 2 枚の SD カードを装着します。
- サイズの異なる SD カードを混在させることはできません。
- SD カードと内蔵 M.2 SATA SSD を混在させることはできません ([M.2 SATA SSD を選択する \(オプション\) \(52 ページ\)](#) を参照)。

ステップ 17 M.2 SATA SSD を選択する (オプション)

ミニストレージ キャリアまたはブート用に最適化された RAID コントローラ (表 28 を参照) とともに、1 台または 2 台の同一の M.2 SATA SSD (表 29 を参照) を注文します。



注: M.2 SATA SSD をブート専用デバイスとして使用することをお勧めします。

各ミニストレージ キャリアまたはブート用に最適化された RAID コントローラは、表 28 に示すように最大 2 台の SATA M.2 SSD に対応できます。

表 28 M.2 SATA SSD

製品 ID (PID)	PID の説明
UCS-M2-240GB	240 GB M.2 SATA SSD
UCS-M2-960GB	960 GB M.2 SATA SSD

表 29 ミニストレージ キャリア / ブート最適化 RAID コントローラ

製品 ID (PID)	PID の説明
UCS-MSTOR-M2	M.2 SATA 用ミニストレージ キャリア (最大 2 台の M.2 SATA SSD を保持)
UCS-M2-HWRAID	Cisco ブート最適化 M.2 RAID コントローラ (最大 2 台の M.2 SATA SSD を保持)



注:

- UCS-M2-HWRAID ブート最適化 RAID コントローラは、RAID 1 および JBOD モードをサポートします。
- UCS-M2-HWRAID モジュラ アダプタは、240 GB および 960 GB M.2 SSD にのみ対応しています。
- (CIMC/UCSM) は、ボリュームの設定とコントローラおよび取り付け済みの SATA M.2 のモニタリングに対応しています。
- The minimum version of Cisco IMC and Cisco UCS Manager that support this controller is 4.0(4b) and later. ソフトウェアのコントローラ名は MSTOR です。
- SATA M.2 ドライブは UEFI モードでのみ起動できます。レガシ ブート モードはサポートされていません。
- ホットプラグの交換はサポートされていません。サーバの電源をオフにする必要があります。
- HyperFlex の構成でサーバをコンピューティング ノードとして使用する場合、ブート最適化 RAID コントローラ モジュールはサポートされません。

- ミニストレージ キャリアまたはブート用に最適化された RAID コントローラのいずれかを [表 29](#) に注文します。
 - RAID 制御なしで M.2 SATA ドライブを制御するには、UCS-MSTOR-M2 ミニストレージ キャリアを選択します。
 - 2 台の内部 SATA M.2 ドライブ間のハードウェア RAID には、UCS-M2-HWRAID Boot-Optimized RAID コントローラを選択します。ブート用に最適化された RAID コントローラは、最大 2 台の同一の M.2 SATA ドライブに対応します。
- 1 台または 2 台の同一の M.2 SATA SSD を [表 28](#) に注文します。



注：ブート最適化 RAID コントローラは、VMware、Windows、および Linux オペレーティングシステムをサポートします。

注意事項

- M.2 SATA SSD と SD カードを混在させることはできません。
- ミニストレージ キャリアまたはブートに最適化された RAID コントローラには、1 台または 2 台の同一の M.2 SATA SSD を注文します。容量の異なる M.2 SATA SSD を混在させることはできません。
- 2 台の M.2 デバイスと組み込みソフトウェア RAID を選択した場合、サポートされる内蔵 SATA ドライブは最大 6 台になります。6 台を超える内蔵ドライブをサポートするには、Cisco 12G RAID コントローラまたは Cisco 12G SAS HBA を選択する必要があります。

ステップ 18 内蔵マイクロ SD カード モジュールを選択する (オプション)

32 GB マイクロ SD カードを選択します。マイクロ SD カードは、Host Upgrade Utility (HUU) などのユーティリティ専用のローカルリソースとして機能します。イメージはファイル共有 (NFS/CIFS) から取得して、今後の使用のためにカードにアップロードできます。

表 30 32 GB セキュア デジタル (SD) カード

製品 ID (PID)	PID の説明
UCS-MSD-32G	UCS サーバ用 32GB マイクロ SD カード

注:

- マイクロ SD カードはライザ 1 またはライザ 1B の内部に装着するため、マイクロ SD カードを選択する場合は UCSC-PCI-1-C240M5 または UCSC-PCI-1B-C240M5 のいずれかを選択してください。
- Flexutil ユーザパーティションは OS のインストールをサポートしていません。ユーザパーティションはストレージにのみ使用する必要があります。

ステップ 19 オプションの USB 3.0 ドライブを選択する

オプションの USB 3.0 ドライブを 1 台選択できます。表 31 に、USB ドライブの選択情報を示します。

表 31 USB 3.0 ドライブ

製品 ID (PID)	PID の説明
UCS-USBFLSHB-16GB	UCS サーバ 16 GB フラッシュ USB ドライブ

USB コネクタの位置については、[図 6、\(68 ページ\)](#) を参照してください。

ステップ 20 オペレーティング システムと付加価値ソフトウェアを選択する

このサーバでサポートされている OS とソフトウェアの詳細については、「Hardware & Software Compatibility List (HCL) (ハードウェア / ソフトウェア互換性リスト (HCL))」 [英語] を参照してください。

注：アスタリスク (*) が付いた PID は、OEM ベンダーのサポートの再販品です。これらは、関連する製品ライセンス型番に追加する必要があります。

選択

- Cisco ソフトウェア (表 32)
- OEM ソフトウェア (表 33)
- オペレーティング システム (表 34)

表 32 Cisco ソフトウェア

製品 ID (PID)	PID の説明
IMC Supervisor	
CIMC-SUP-BASE-K9	IMC Supervisor ワンタイム サイト インストール ライセンス
CIMC-SUP-B01	C/E シリーズ用 IMC Supervisor ブランチ管理 SW、最大 100 サーバ
CIMC-SUP-B02	C/E シリーズ用 IMC Supervisor ブランチ管理 SW、最大 250 サーバ
CIMC-SUP-B10	C/E シリーズ用 IMC Supervisor ブランチ管理 SW、最大 1000 サーバ
CIMC-SUP-B25	C/E シリーズ用 IMC Supervisor ブランチ管理 SW、25 サーバ
CIMC-SUP-A01	C/E シリーズ用 IMC Supervisor Advanced ブランチ管理 SW、100 サーバ
CIMC-SUP-A02	C/E シリーズ用 IMC Supervisor Advanced ブランチ管理 SW、250 サーバ
CIMC-SUP-A10	C/E シリーズ用 IMC Supervisor Advanced ブランチ管理 SW、1000 サーバ
CIMC-SUP-A25	C/E シリーズ用 IMC Supervisor Advanced ブランチ管理 SW、25 サーバ
EVAL-CIMC-SUP-BAS	EVAL : IMC Supervisor ワンタイム サイト インストール ライセンス
EVAL-CIMC-SUP	EVAL : C/E シリーズ用 IMC Supervisor ブランチ管理 SW、50 サーバ
UCS マルチドメイン マネージャ	
UCS-MDMGR-1S	サーバ ライセンスに関する UCS Central
注：1 つ以上の UCS-MDMGR-1S を選択する場合は、サーバに関する UCS Central のデータシートを参照して、スタンドアロンの PID (UCS-MDMGR-LIC= または UCS-MDMGR-1DMN=) を選択する必要があります。	

表 33 OEM ソフトウェア

製品 ID (PID)	PID の説明
VMware vCenter	
VMW-VCS-STD-1A	VMware vCenter 7 Server Standard、1 年サポートが必要
VMW-VCS-STD-3A	VMware vCenter 7 Server Standard、3 年サポートが必要
VMW-VCS-STD-5A	VMware vCenter 7 Server Standard、5 年サポートが必要
VMW-VCS-FND-1A	VMware vCenter 7 Server Foundation (4 ホスト)、1 年サポートが必要
VMW-VCS-FND-3A	VMware vCenter 7 Server Foundation (4 ホスト)、3 年サポートが必要
VMW-VCS-FND-5A	VMware vCenter 7 Server Foundation (4 ホスト)、5 年サポートが必要

表 34 オペレーティング システム

製品 ID (PID)	PID の説明
Microsoft Windows Server	
MSWS-19-DC16C	Windows Server 2019 Data Center (16 コア /VM 無制限)
MSWS-19-DC16C-NS	Windows Server 2019 DC (16 コア /VM 無制限)、Cisco SVC なし
MSWS-19-ST16C	Windows Server 2019 Standard (16 コア /2 VM)
MSWS-19-ST16C-NS	Windows Server 2019 Standard (16 コア /2 VM)、Cisco SVC なし
MSWS-22-ST16C	Windows Server 2022 Standard (16 コア /2 VM)
MSWS-22-ST16C-NS	Windows Server 2022 Standard (16 コア /2 VM)、Cisco SVC なし
MSWS-22-DC16C	Windows Server 2022 Data Center (16 コア /VM 無制限)
MSWS-22-DC16C-NS	Windows Server 2022 DC (16 コア /VM 無制限)、Cisco SVC なし
Red Hat	
RHEL-2S2V-1A	Red Hat Enterprise Linux (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VN)、1 年サポートが必要
RHEL-2S2V-3A	Red Hat Enterprise Linux (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VN)、3 年サポートが必要
RHEL-2S2V-5A	Red Hat Enterprise Linux (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VN)、5 年サポートが必要
RHEL-VDC-2SUV-1A	仮想データセンター用 RHEL (1 ~ 2 CPU、VN 無制限)、1 年サポートが必要
RHEL-VDC-2SUV-3A	仮想データセンター用 RHEL (1 ~ 2 CPU、VN 無制限)、3 年サポートが必要
RHEL-VDC-2SUV-5A	仮想データセンター用 RHEL (1 ~ 2 CPU、VN 無制限)、5 年サポートが必要

表 34 (続き) オペレーティング システム

製品 ID (PID)	PID の説明
Red Hat Ent Linux/High Avail/Res Strg/Scal	
RHEL-2S2V-1S	Red Hat Enterprise Linux (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VN)、Prem 1 年 SnS
RHEL-2S2V-3S	Red Hat Enterprise Linux (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VN)、Prem 3 年 SnS
RHEL-2S-HA-1S	RHEL High Availability (1 ~ 2 CPU)、Prem 1 年 SnS
RHEL-2S-HA-3S	RHEL High Availability (1 ~ 2 CPU)、Prem 3 年 SnS
RHEL-2S-RS-1S	RHEL Resilient Storage (1 ~ 2 CPU)、Prem 1 年 SnS
RHEL-2S-RS-3S	RHEL Resilient Storage (1 ~ 2 CPU)、Prem 3 年 SnS
RHEL-VDC-2SUV-1S	仮想データセンター用 RHEL (1 ~ 2 CPU、VN 無制限)、1 年 SnS が必要
RHEL-VDC-2SUV-3S	仮想データセンター用 RHEL (1 ~ 2 CPU、VN 無制限)、3 年 SnS が必要
Red Hat SAP	
RHEL-SAP-2S2V-1S	SAP アプリケーション用 RHEL (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、プレミアム 1 年 SnS が必要
RHEL-SAP-2S2V-3S	SAP アプリケーション用 RHEL (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、プレミアム 3 年 SnS が必要
RHEL-SAPSP-3S	RHEL SAP Solutions Premium - 3 年間の SnS ライセンス
RHEL-SAPSS-3S	RHEL SAP Solutions Standard - 3 年間の SnS ライセンス
VMware	
VMW-VSP-STD-1A	VMware vSphere 7 Std (1 CPU、32 Core) 1 年サポートが必要
VMW-VSP-STD-3A	VMware vSphere 7 Std (1 CPU、32 Core) 3 年サポートが必要
VMW-VSP-STD-5A	VMware vSphere 7 Std (1 CPU、32 Core) 5 年サポートが必要
VMW-VSP-EPL-1A	VMware vSphere 7 Std (1 CPU、32 Core) 1 年サポートが必要
VMW-VSP-EPL-3A	VMware vSphere 7 Ent Plus (1 CPU、32 Core) 3 年サポートが必要
VMW-VSP-EPL-5A	VMware vSphere 7 Std (1 CPU、32 Core) 5 年サポートが必要
SuSE	
SLES-2S2V-1A	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、1 年サポートが必要
SLES-2S2V-3A	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、3 年サポートが必要
SLES-2S2V-5A	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、5 年サポートが必要 4.0(4b)4.0(4b)
SLES-2S2V-1S	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、優先 1 年 SnS

表 34 (続き) オペレーティング システム

製品 ID (PID)	PID の説明
SLES-2SUV-3S	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、VM 無制限)、優先 3 年 SnS
SLES-2SUV-5S	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、VM 無制限)、優先 5 年 SnS
SLES-2S-HA-1S	SUSE Linux 高可用性拡張 (1 ~ 2 CPU)、1 年 SnS
SLES-2S-HA-3S	SUSE Linux 高可用性拡張 (1 ~ 2 CPU)、3 年 SnS
SLES-2S-HA-5S	SUSE Linux 高可用性拡張 (1 ~ 2 CPU)、5 年 SnS
SLES-2S-GC-1S	SUSE Linux HA 対応 Geo クラスタリング (1 ~ 2 CPU)、1 年 SnS
SLES-2S-GC-3S	SUSE Linux HA 対応 Geo クラスタリング (1 ~ 2 CPU)、3 年 SnS
SLES-2S-GC-5S	SUSE Linux HA 対応 Geo クラスタリング (1 ~ 2 CPU)、5 年 SnS
SLES-2S-LP-1S	SUSE Linux Live パッチ アドオン (1 ~ 2 CPU)、1 年 SnS が必要
SLES-2S-LP-3S	SUSE Linux Live パッチ アドオン (1 ~ 2 CPU)、3 年 SnS が必要
SLES-2S-LP-1A	SUSE Linux Live Patching アドオン (1 ~ 2 CPU)、1 年サポートが必要
SLES-2S-LP-3A	SUSE Linux Live Patching アドオン (1 ~ 2 CPU)、3 年サポートが必要
SLES および SAP	
SLES-SAP-2S2V-1A	SAP アプリケーション用 SLES (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、1 年サポートが必要
SLES-SAP-2S2V-3A	SAP アプリケーション用 SLES (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、3 年サポートが必要
SLES-SAP-2S2V-5A	SAP アプリケーション用 SLES (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、5 年サポートが必要
SLES-SAP-2S2V-1S	SAP アプリケーション用 SLES (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、優先 1 年 SnS
SLES-SAP-2S2V-3S	SAP アプリケーション用 SLES (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、優先 3 年 SnS
SLES-SAP-2S2V-5S	SAP アプリケーション用 SLES (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、優先 5 年 SnS

ステップ 21 サービスおよびサポート レベルを選択する

必要なサービス オプションをご利用いただけます。

Unified Computing Warranty (契約なし)

ご使用システムの重要性が高くない場合は、サービスなしの契約をお選びいただけます。提供される内容は次のとおりです。

- 3年間のパーツ提供対応
- 翌営業日 (NBD) のパーツ交換、8時間 / 日、5日 / 週
- 90日間のソフトウェア保証 (メディア対象)
- BIOS、ドライバ、ファームウェアのアップデートのダウンロード
- UCSM アップデート (Unified Computing System Manager を使用するシステムの場合)。このアップデートには、公開されている仕様、リリース ノート、業界標準への UCSM のコンプライアンスを維持するためのマイナー拡張やバグ修正が含まれます。

UCS 向け Smart Net Total Care (SNTC)

Unified Computing システムの全体サポートについては、Cisco は UCS サービス向けに Cisco Smart Net Total Care を提供します。このサービスでは、エキスパートによる ソフトウェア および ハードウェア へのサポートを行い、Unified Computing 環境におけるパフォーマンスの維持と高可用性の実現へのお手伝いをいたします。世界中のどこからでも Cisco Technical Assistance Center (TAC) に 24 時間 いつでもアクセスできます

Unified Computing System Manager を含むシステム向けには、UCSM アップグレードのダウンロードをはじめとしたサポート サービスを提供いたします Cisco Smart Net Total Care は、各種ハードウェア交換 オプション をご用意し、2 時間以内の交換 などにも対応しています。また、シスコの豊富な オンラインテクニカル リソース にもアクセスできます。Unified Computing 環境において 最大の効率性とアップタイム を実現するためにご活用いただけます。詳細については、次の URL を参照してください。

<http://www.cisco.com/c/en/us/services/technical/smart-net-total-care.html?stickynav=1>

一覧に表示されている 希望のサービス を選択 できます [表 35](#)。

表 35 Cisco SNTC UCS サービス向け (PID UCSC-C240-M5SD)

サービス SKU	サービス レベル GSP	オンサイト?	説明
CON-PREM-C240M5SD	C2P	対応	SNTC 24X7X20S
CON-UCSD8-C240M5SD	UCSD8	対応	UC SUPP DR 24X7X20S*
CON-C2PL-C240M5SD	C2PL	対応	LL 24X7X20S**
CON-OSP-C240M5SD	C4P	対応	SNTC 24X7X40S
CON-UCSD7-C240M5SD	UCSD7	対応	UCS DR 24X7X40S*

表 35 Cisco SNTC UCS サービス向け (PID UCSC-C240-M5SD)

サービス SKU	サービス レベル GSP	オンサイト?	説明
CON-C4PL-C240M5SD	C4PL	対応	LL 24X7X4OS**
CON-USD7L-C240M5SD	USD7L	対応	LLUCS HW DR 24X7X4OS***
CON-OSE-C240M5SD	C4S	対応	SNTC 8X5X4OS
CON-UCSD6-C240M5SD	UCSD6	対応	UC SUPP DR 8X5X4OS*
CON-SNCO-C240M5SD	SNCO	対応	SNTC 8x7xNCDOS****
CON-OS-C240M5SD	CS	対応	SNTC 8X5XNBDOS
CON-UCSD5-C240M5SD	UCSD5	対応	UCS DR 8X5XNBDOS*
CON-S2P-C240M5SD	S2P	非対応	SNTC 24X7X2
CON-S2PL-C240M5SD	S2PL	非対応	LL 24X7X2**
CON-SNTP-C240M5SD	SNTP	非対応	SNTC 24X7X4
CON-SNTPL-C240M5SD	SNTPL	非対応	LL 24X7X4**
CON-SNTE-C240M5SD	SNTE	非対応	SNTC 8X5X4
CON-SNC-C240M5SD	SNC	非対応	SNTC 8x7xNCD****
CON-SNT-C240M5SD	SNT	非対応	SNTC 8X5XNBD
CON-SW-C240M5SD	SW	非対応	SNTC NO RMA
注：PID UCSC-C240-M5S の場合は、接尾辞 CC240M5S のサービス SKU を選択します（例：CON-PREM-CC240M5S）。			
注：PID UCSC-C240-M5SN の場合は、接尾辞 C240M5SN のサービス SKU を選択します（例：CON-PREM-C240M5SN）。			
*Drive Retention を含む (UCS Drive Retention サービス (66 ページ) を参照)			
** ローカル言語サポートを含む (UCS のローカル言語テクニカル サポート (67 ページ) を参照)。中国と日本でのみ利用可能			
*** ローカル言語サポートと Drive Retention を含む – 中国と日本でのみ利用可能			
****中国でのみ利用可能			

Cisco UCS 向け Smart Net Total Care オンサイト トラブルシューティング サービス

従来の Smart Net Total Care を拡張したサービスです。お客様の Cisco Unified Computing System (UCS) 環境内で発生したハードウェア問題を診断および切り離す際に役立つ、オンサイト トラブルシューティングの専門知識を提供します。このサービスは、シスコ認定フィールド エンジニア (FE) がリモートの TAC エンジニアおよび仮想インターネット ワーキング サポート エンジニア (VISE) と協力して提供します。次の一覧から希望のサービスを選択できます [表 36](#)。

表 36 SNTC for UCS オンサイト トラブルシューティング サービス

サービス SKU	サービス レベル GS	オン サイト対応	説明
CON-OSPT-C240M5SD	OSPT	対応	24X7X40S Trblshtg
CON-OSPTD-C240M5SD	OSPTD	対応	24X7X40S TrblshtgDR*
CON-OSPTL-C240M5SD	OSPTL	対応	24X7X40S TrblshtgLL**
CON-OPTLD-C240M5SD	OPTLD	対応	24X7X40S TrblshtgLLD***
*Drive Retention を含む (UCS Drive Retention サービス (66 ページ) を参照)			
** ローカル言語サポートを含む (UCS のローカル言語テクニカル サポート (67 ページ) を参照)。中国と日本でのみ利用可能			
*** ローカル言語サポートとドライブの保持を含む - 中国と日本でのみ利用可能			

UCS 向けソリューション サポート

ソリューション サポートには、シスコ製品のサポートとソリューションレベルのサポートの両方が含まれており、マルチベンダー環境の複雑な問題の解決時間が、製品サポート単体の場合と比べて平均で 43 % 以上短縮されます。ソリューション サポートは、データセンター管理における重要な要素であり、パフォーマンス、信頼性、投資回収率を維持しながら、発生した問題の迅速な解決を支援します。

このサービスは、エコシステムに展開したシスコ製品とソリューション パートナーの製品の両方に対応するため、マルチベンダーのシスコ環境全体でサポートが一元化されます。シスコとソリューションパートナーのどちらの製品に問題がある場合でも、シスコにご連絡ください。シスコのエキスパートが主な連絡窓口となり、最初のお電話から問題の解決までお客様をサポートします。詳細については、次の URL を参照してください。

<http://www.cisco.com/c/en/us/services/technical/solution-support.html?stickynav=1>
一覧に表示されている希望のサービスを選択できます [表 37](#)。

表 37 UCS サービスのソリューション サポート (PID UCSC-C240-M5SD)

サービス SKU	サービス レベル GSP	オン サイト対応	説明
CON-SSC2P-C240M5SD	SSC2P	対応	SOLN SUPP 24X7X20S
CON-SSC4P-C240M5SD	SSC4P	対応	SOLN SUPP 24X7X40S
CON-SSC4S-C240M5SD	SSC4S	対応	SOLN SUPP 8X5X40S

表 37 UCS サービスのソリューション サポート (PID UCSC-C240-M5SD) (続き)

CON-SSCS-C240M5SD	SSCS	対応	SOLN SUPP 8X5XNBDOS
CON-SSDR7-C240M5SD	SSDR7	対応	SSPT DR 24X7X4OS*
CON-SSDR5-C240M5SD	SSDR5	対応	SSPT DR 8X5XNBDOS*
CON-SSS2P-C240M5SD	SSS2P	非対応	SOLN SUPP 24X7X2
CON-SSSNP-C240M5SD	SSSNP	非対応	SOLN SUPP 24X7X4
CON-SSSNE-C240M5SD	SSSNE	非対応	SOLN SUPP 8X5X4
CON-SSSNC-C240M5SD	SSSNC	非対応	SOLN SUPP NCD**
CON-SSSNT-C240M5SD	SSSNT	非対応	SOLN SUPP 8X5XNBD
* ドライブの保持を含む (UCS Drive Retention サービス (66 ページ) を参照)			
**** 中国でのみ利用可能			

Smart Net Total Care for UCS Hardware Only Service

Cisco Unified Computing System の標準の保証期間より短期間での部品交換をご希望のお客様には、Cisco Smart Net Total Care for UCS Hardware Only Service を提供しています。4 時間以内のオンサイト部品交換など、2 つのレベルの高度な部品交換サービスからお選びいただけます。Smart Net Total Care for UCS Hardware Only Service では、返品許可 (RMA) が必要であるかの判断を行う、シスコのサポート プロフェッショナルにいつでもリモート アクセスできます。一覧に表示されている希望のサービスを選択できます [表 38](#)

表 38 UCS ハードウェア専用サービス向けの SNTC (PID UCSC-C240-M5SD)

サービス SKU	サービス レベル GSP	オンサイト?	説明
CON-UCW7-C240M5SD	UCW7	対応	UCS HW 24X7X4OS
CON-UCWD7-C240M5SD	UCWD7	対応	UCS HW + DR 24X7X4OS *
CON-UCW7L-C240M5SD	UCW7L	対応	LL 24X7X4OS**
CON-UWD7L-C240M5SD	UWD7L	対応	UCS DR 24X7X4OS*
CON-UCW5-C240M5SD	UCW5	対応	UCS HW 8X5XNBDOS
CON-UCWD5-C240M5SD	UCWD5	対応	UCS HW+DR 8X5XNBDOS*
*Drive Retention を含む (UCS Drive Retention サービス (66 ページ) を参照)			
** ローカル言語サポートを含む (UCS のローカル言語テクニカル サポート (67 ページ) を参照)。中国と日本でのみ利用可能			
*** ローカル言語サポートと Drive Retention を含む、中国と日本でのみ利用可能			

UCS のパートナー向け サポート サービス

Cisco Partner Support Service (PSS) は、パートナーが独自のブランド サポートやマネージド サービスを企業顧客に提供するために設計されたシスコ コラボレーション サービス メニューです。Cisco PSS を利用すれば、パートナーは、シスコのサポート インフラストラクチャや資産にアクセスして次のような目的に役立てることができます。

- 最も複雑なネットワーク環境に対応するためのサービス ポートフォリオを拡充する
- 納入コストを削減する
- 顧客ロイヤルティを高めるサービスを提供する

PSS オプションを使用すれば、認定されたシスコ パートナーは、シスコの知的資産を活用した価値の高いテクニカル サポートを開発し、一貫して提供することができます。これにより、パートナーはより高いマージンを獲得し、活動範囲を広げることができます。

PSS はすべての Cisco PSS パートナーが利用できます。

2 つの パートナー ユニファイド コンピューティング サポートには以下が含まれます。

- UCS のパートナー向けサポート サービス
- UCS ハードウェア 専用 パートナー サポート サービス

UCS 向けの PSS は、シスコ テクニカル リソースが支援するサードパーティ ソフトウェアのトリ アージ サポートとレベル 3 サポートを含むハードウェア サポートとソフトウェア サポートを提供します。表 39 に示すサービスの中から必要なものを選択できます。

表 39 UCS の PSS (PID UCSC-C240-M5SD)

サービス SKU	サービス レベル GSP	オン サイト対応	説明
SSC4P	PSJ8	対応	UCS PSS 24X7X2 OS
CON-PSJ7-C240M5SD	PSJ7	対応	UCS PSS 24X7X4 OS
CON-PSJD7-C240M5SD	PSJD7	対応	UCS PSS 24X7X4 DR*
CON-PSJ6-C240M5SD	PSJ6	対応	UCS PSS 8X5X4 OS
CON-PSJD6-C240M5SD	PSJD6	対応	UCS PSS 8X5X4 DR*
CON-PSJ4-C240M5SD	PSJ4	非対応	UCS SUPP PSS 24X7X2
CON-PSJ3-C240M5SD	PSJ3	非対応	UCS SUPP PSS 24X7X4
CON-PSJ2-C240M5SD	PSJ2	非対応	UCS SUPP PSS 8X5X4
CON-PSJ1-C240M5SD	PSJ1	非対応	UCS SUPP PSS 8X5XNBD
* ドライブの保持を含む (UCS Drive Retention サービス (66 ページ) を参照)			

UCS ハードウェア専用の PSS

PSS ハードウェア 専用 PSS では、交換部品を 2 時間で提供し、返品許可 (RMA) が必要であるかの判断を行うサポート プロフェッショナルにいつでもリモート アクセスできます。一覧に表示されている希望のサービスを選択できます [表 40](#)

表 40 UCS ハードウェア専用 PSS (PID UCSC-C240-M5SD)

サービス SKU	サービス レベル GSP	オン サイト対応	説明
CON-PSW7-C240M5SD	PSW7	対応	UCS W PSS 24X7X4 OS
CON-PSWD7-C240M5SD	PSWD7	対応	UCS W PSS 24X7X4 DR*
CON-PSW6-C240M5SD	PSW6	対応	UCS W PSS 8X5X4 OS
CON-PSWD6-C240M5SD	PSWD6	対応	UCS W PSS 8X5X4 DR*
CON-PSW4-C240M5SD	PSW4	非対応	UCS W PL PSS 24X7X2
CON-PSW3-C240M5SD	PSW3	非対応	UCS W PL PSS 24X7X4
CON-PSW2-C240M5SD	PSW2	非対応	UCS W PL PSS 8X5X4
* ドライブ保持を含む (UCS Drive Retention サービス (66 ページ) を参照)			

Unified Computing Combined Support サービス

Combined Services は、1つの契約で必要なサービスの購入と管理を容易にします。UCS 向けの SNTC サービスは、不可欠なデータセンターインフラストラクチャの可用性を向上させ、Unified Computing への投資から最大の価値を引き出します。Cisco Unified Computing System (Cisco UCS) から得られるメリットが大きいほど、お客様のビジネスにとってテクノロジーが重要になります。これらのサービスを使用すれば、次のことが可能になります。

- UCS のアップタイム、パフォーマンス、および効率性を最適化する
- 問題を迅速に特定して対処することによって、重要なビジネスアプリケーションを保護する
- 情報伝達とメンタリングを通じて、社内の専門知識を強化する
- UCS エキスパートによって社内スタッフの稼働率が高められることで、業務の効率化を図る
- 運用への影響が発生する前に潜在的な問題を診断することで、ビジネスの俊敏性を高める

一覧に表示されている希望のサービスを選択できます [表 41](#)

表 41 UCS の複合サポート サービス (PID UCSC-C240-M5SD)

サービス SKU	サービス レベル GSP	オンサイト対応	説明
CON-NCF2P-C240M5SD	NCF2P	対応	CMB SVC 24X7X2OS
CON-NCF4P-C240M5SD	NCF4P	対応	CMB SVC 24X7X4OS
CON-NCF4S-C240M5SD	NCF4S	対応	CMB SVC 8X5X4OS
CON-NCFCS-C240M5SD	NCFCS	対応	CMB SVC 8X5XNBDOS
CON-NCF2-C240M5SD	NCF2	非対応	CMB SVC 24X7X2
CON-NCFP-C240M5SD	NCFP	非対応	CMB SVC 24X7X4
CON-NCFE-C240M5SD	NCFE	非対応	CMB SVC 8X5X4
CON-NCFT-C240M5SD	NCFT	非対応	CMB SVC 8X5XNBD
CON-NCFW-C240M5SD	NCFW	非対応	CMB SVC SW

UCS Drive Retention サービス

Cisco Unified Computing Drive Retention サービスは、障害ディスクの部品交換にあたり、故障したディスクドライブの返却なしに、交換用の新しいドライブを提供するサービスです。

故障したディスクドライブであっても、高度なデータリカバリ技術により、極秘情報、所有権情報、機密情報などのセキュリティが危険にさらされる可能性があります。このサービスを利用してドライブを手元に保持したまま破棄すれば、こうしたドライブの機密データが脅かされることがなくなり、機密漏えい責任を問われるリスクが軽減します。このサービスは、規制や国および地方で定められた要件への遵守にも役立ちます。

社内で機密データ、秘密データ、極秘データ、および専有データを管理する必要がある場合は、前出の表に示した Drive Retention サービスのいずれかを検討してください（利用可能な場合）。



注 : Cisco does not offer a certified drive destruction service as part of this service.

UCS のローカル言語テクニカル サポート

利用可能な場合は、追加料金の支払いを受けた上で、割り当てられたすべての重大度レベルについて、特定製品に対するコールのローカル言語サポートを利用できます。前述の表を参照。

Cisco Unified Computing System 向けの全サービス一覧は、次の URL でご覧いただけます。

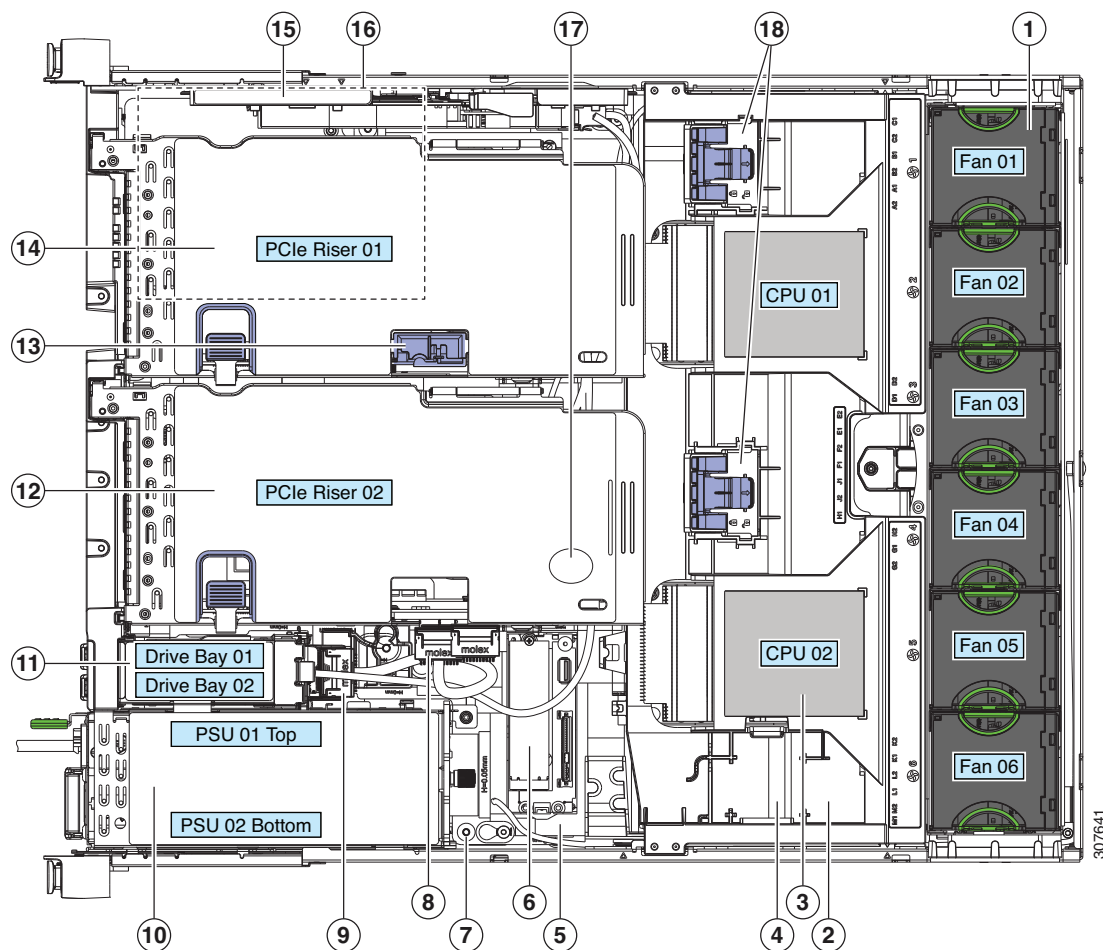
http://www.cisco.com/en/US/products/ps10312/serv_group_home.html

参考資料

シャーシ

図6は、上部カバーを外した状態の C240 SD M5 シャーシの内部です。

図 6 上部カバーを外した C240 SD M5 SFF



1	ファン モジュール (ホット スワップ)	2	DIMM ソケット (この図では非表示)
3	CPU およびヒート シンク (1 または 2)	4	エアー バッフルの SuperCap 電源モジュール 取り付けクリップ (該当する場合)
5	マザーボード上の USB 3.0 スロット	6	ミニストレージ モジュール ソケット 2つの SD カード スロットを備えた SD カード キャリア、または2つの M.2 SATA あるいは2つの M.2 NVMe SSD 用の2つのスロットを備えた M.2 SSD キャリアがサポートされています。

7	シャーシ侵入スイッチ	8	NVMe ドライブの PCI ケーブル コネクタ
9	垂直ドライブ バックプレーン アセンブリ	10	電源 (ホットスワップ)
11	ドライブベイ 01 および 02	12	PCIe ライザー 2 <ul style="list-style-type: none"> ■ ライザー 2B オプション : PCIe スロット 4、5、6、または ■ ライザー 2E オプション : PCIe スロット 2 およびドライブ ベイ 4 および 6
13	PCIe ライザー 01 の micro SD カード ソケット	14	PCIe ライザー 1 <ul style="list-style-type: none"> ■ ライザー 1 オプション : PCIe スロット 1、2、3、または ■ ライザー 1C オプション : PCIe スロット 1 およびドライブ ベイ 3 および 5
15	ストレージ コントローラ専用スロット	16	ボード上の mLOM カード ソケット
17	マザーボード上の RTC バッテリ (図示なし)	18	-

CPU および DIMM のレイアウト

各 CPU に 4 つの DIMM チャンネルがあります。

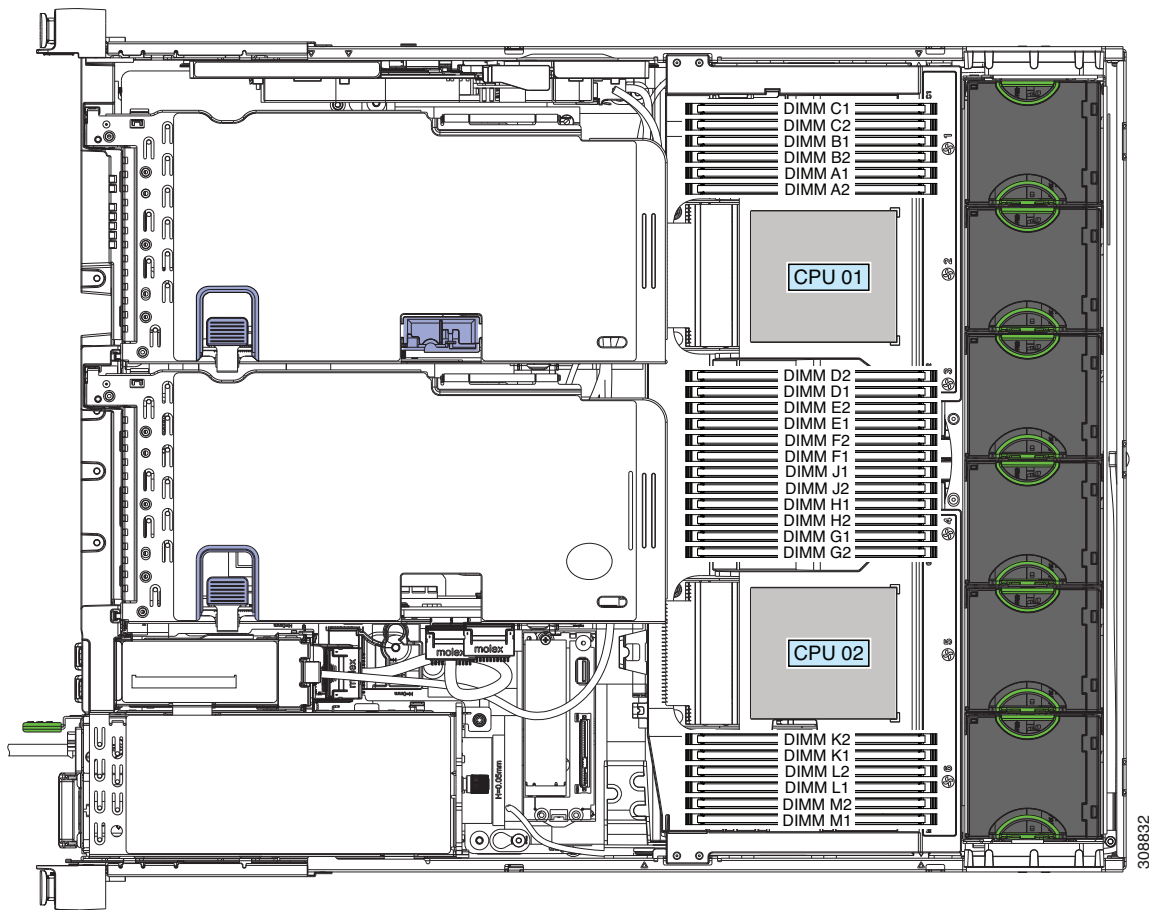
- CPU1 には チャンネル A、B、C、D、E、F があります。
- CPU2 にはチャンネル G、H、J、K、L、M があります。

各 DIMM チャンネルに 2 個のスロット (スロット 1 とスロット 2) があります。黒の DIMM スロットがスロット 1 用で、青のスロットがスロット 2 用です。

たとえば、DIMM スロット A1、B1、C1、D1、E1、F1 はスロット 1 に属し、A2、B2、C2、D2、E2、F2 はスロット 2 に属します。

図 8 マザーボード上のスロットおよびチャンネルの物理的な配置を示します。スロット 1 (青) の DIMM スロットは必ず、対応するスロット 2 (黒) のスロットよりも CPU から離れた位置にあります。スロット 1 のスロット (青) には、スロット 2 のスロット (黒) の前に装着します。

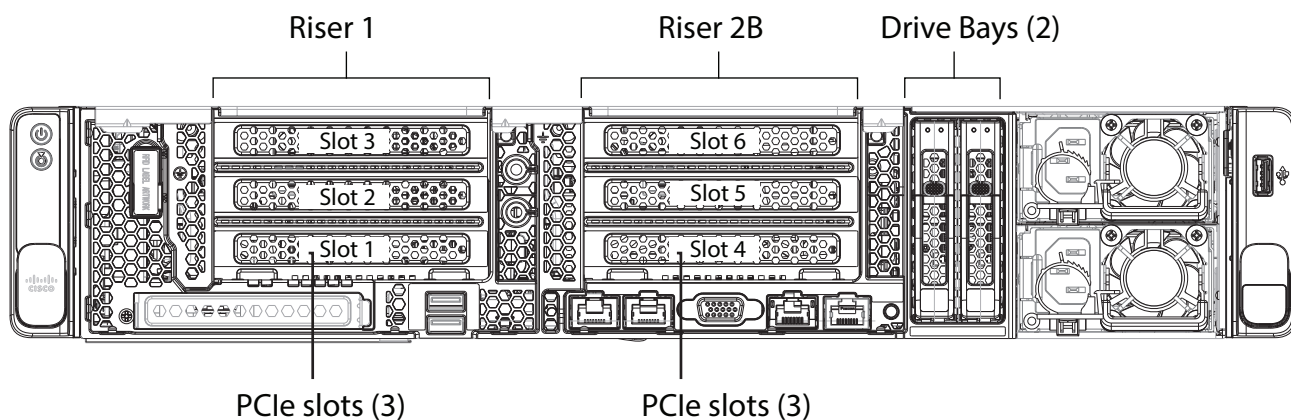
図 8 C240 SD M5 CPU および DIMM のレイアウト



ライザー カードの設定とオプション

1 / 2B ライザー カードの組み合わせを [図9](#) に示します。この組み合わせでは、シャーシ内の 2 つの固定ドライブベイに加えて、6 つの PCIe スロットが提供されます。

図9 左側のライザー カード 1 (PCIe スロット 1、2、3) と右側のライザー カード 2B (PCIe スロット 4、5、6)



[図10](#) に、1C / 2E ライザー カードの組み合わせを示します。この組み合わせには、シャーシ内の 2 つの永続ドライブベイに加えて、2 つの PCIe スロットと 4 つのドライブベイがあります。

図10 左側のライザー カード 1C (PCIe1 スロットと 2 つのドライブベイ)、右側のライザー カード 2E (PCIe2 スロットと 2 つのドライブベイ)

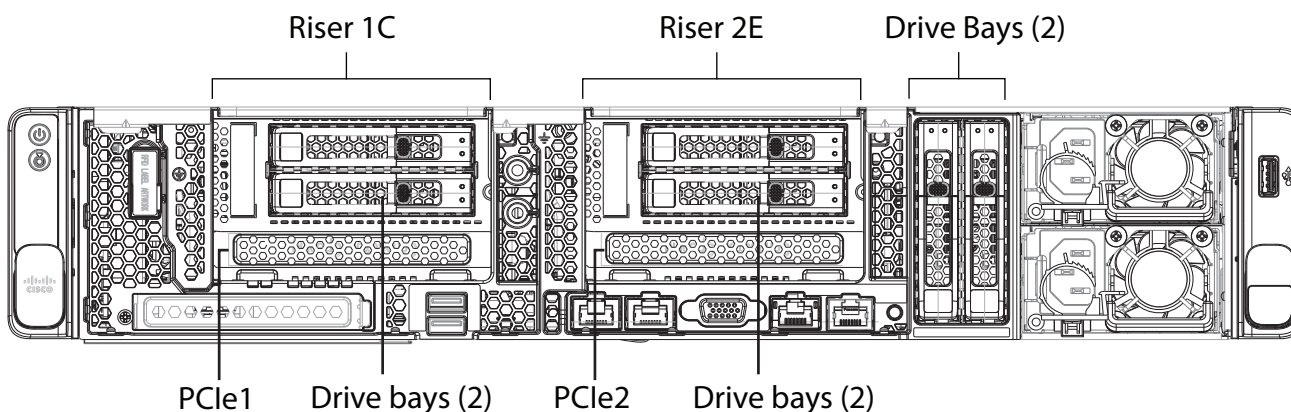


表 42 ライザーのストレージと PCIe スロットの組み合わせを示します。

表 42 ストレージと PCIe スロットの組み合わせ

設定 (Configuration)	オプションの組み合わせ
ライザー 1C および 2E が取り付けられたシングル CPU サーバ (図 10、(72 ページ))	
垂直ドライブ (ドライブ 1 および 2)	最大 2 台の SAS/SATA ドライブ (垂直 SAS バックプレーン搭載) NVMe ドライブはインストールできない
水平ドライブ (ドライブ 3、4、5、および 6)	最大 4 つの SAS/SATA ドライブ NVMe ドライブをインストールできない
PCIe スロット (PCIe スロット 1 および 2)	PCIe スロット 1 のみが使用可能 (x16)。NCSI および NVIDIA T4 GPU 互換。
ライザー 1C および 2E が取り付けられたデュアル CPU サーバ (図 10、(72 ページ))	
垂直ドライブ (ドライブ 1 および 2)	最大 2 台の SAS/SATA ドライブ (垂直 SAS バックプレーン搭載)、または 最大 2 つの NVMe ドライブ (垂直 NVMe バックプレーン搭載)
水平ドライブ (ドライブ 3、4、5、および 6)	最大 4 台の SAS / SATA ドライブまたは NVMe ドライブ (任意の組み合わせ)
PCIe スロット (PCIe スロット 1 および 2)	PCIe スロット 1 (x16) および PCIe 2 スロット (x16) を使用できます。 両方のスロットは、NCSI および NVIDIA T4 GPU と互換性があります。
ライザー 1 および 2B が取り付けられたシングル CPU サーバ (図 9、(72 ページ))	
垂直ドライブ (ドライブ 1 および 2)	最大 2 台の SAS/SATA ドライブ (垂直 SAS バックプレーン搭載) NVMe ドライブはインストールできない
水平ドライブ (ドライブ 3、4、5、および 6)	N/A
PCIe スロット (PCIe スロット 1、2、3、4、 5、6)	PCIe スロット 1 (x8、NCSI 互換) および 2 (x16、NCSI および NVIDIA T4 GPU 互換) のみ使用可能
ライザー 1 および 2B が取り付けられたデュアル CPU サーバ (図 9、(72 ページ))	
垂直ドライブ (ドライブ 1 および 2)	最大 2 台の SAS/SATA ドライブ (垂直 SAS バックプレーン搭載)、または 最大 2 つの NVMe ドライブ (垂直 NVMe バックプレーン搭載)
水平ドライブ (ドライブ 3、4、5、および 6)	N/A
PCIe スロット (PCIe スロット 1、2、3、4、 5、6)	6 つの PCIe スロットすべてが使用可能 PCIe スロット 1 (x8、NCSI)、PCIe 2 スロット (x16、NCSI および T4 GPU 互換)、PCIe スロット 3 (x8)、PCIe スロット 4 (x8、NCSI)、 PCIe スロット 5 (x16、NCSI および T4 GPU 互換)、 および PCIe スロット 6 (x8)

図 11 と 表 43 にライザー カード 1 を示します。

図 11 ライザー カード 1 (PCIe スロット 1、2、3)

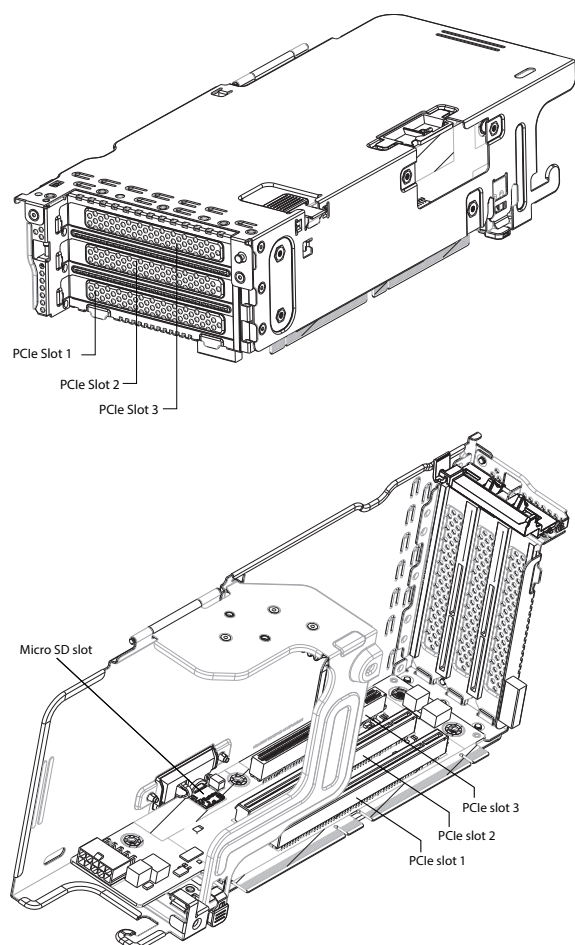


表 43 ライザー カード 1

スロット #	高さ	長さ	電気	NCSI のサポート
ライザーカード 1、PID UCSC-PCI-1-C240M5				
3	全二重	全二重	x8	いいえ
2	全二重	全二重 ¹	x16	対応 ²
1	全二重	3/4	x8	あり ²

注:

- GPU 対応スロット
- NCSI を使用できるのはいずれか 1 つのスロットのみです (デフォルトはスロット 2)。GPU カードがスロット 2 にある場合、NCSI のサポートはスロット 1 に自動的に移ります。

図 12 と 表 44 にライザー カード 2B を示します。

図 12 ライザー 2 (PCIe スロット 4、5、6)

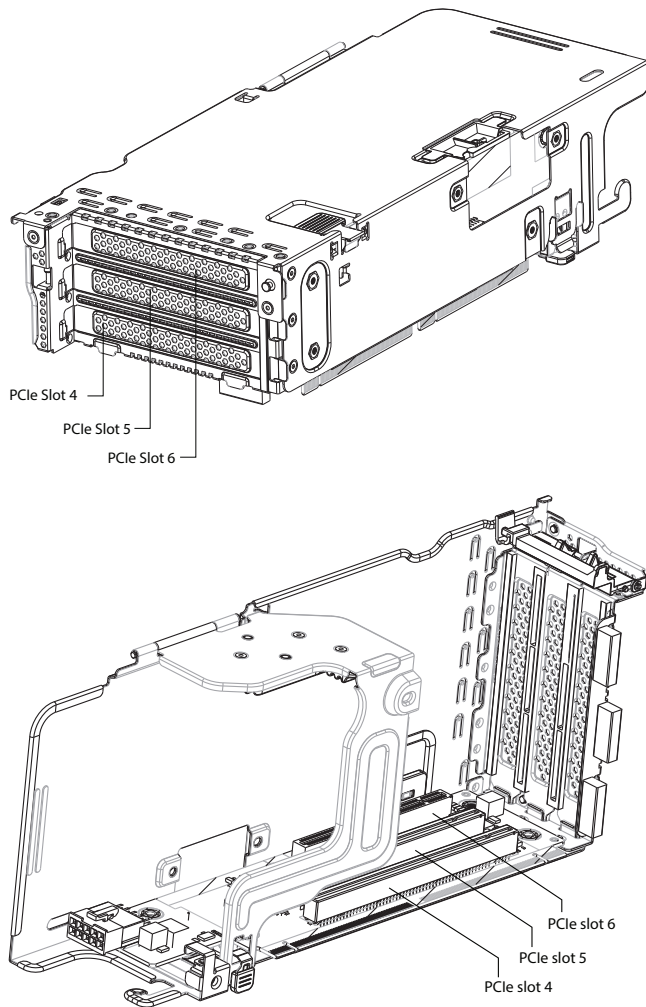


表 44 ライザー カード

スロット #	高さ	長さ	電気	NCSI のサポート
ライザー カード 2B、PID UCSC-PCI-2B-240M5				
6	全二重	半二重	x8	いいえ
5	全二重	全二重 ¹	x16	対応 ²
4	全二重	全二重	x8	あり ²

注:

- GPU 対応スロット
- NCSI を使用できるのはいずれか 1 つのスロットのみです (デフォルトはスロット 5)。GPU カードがスロット 5 にある場合、NCSI のサポートはスロット 4 に自動的に移ります。

図 13 表 45 にライザー カード 1C を示します。

図 13 ライザー カード 1C (PCIe スロット 1 およびドライブベイ 3 および 5)

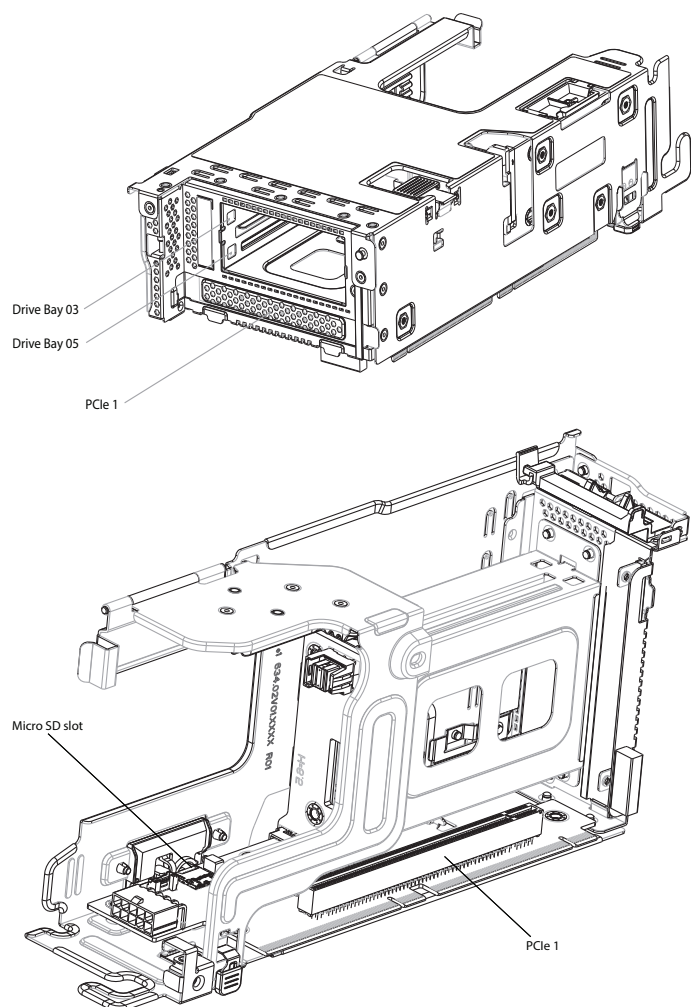


表 45 ライザー カード 1C

スロット #	高さ	長さ	電気	NCSI のサポート
ライザー カード 1C PID UCSC-RS1C-240M5SD				
ドライブ ベイ 03 : NVMe ドライブ または SAS /SATA HDD/SSD ドライブに対応				
ドライブ ベイ 05 : NVMe ドライブ または SAS /SATA HDD/SSD ドライブに対応				
PCIe 1	全二重	3/4	x16	対応

図 14 と 表 46 にライザー カード 2E を示します。

図 14 ライザー カード 2E (PCIe スロット 2 およびドライブ ベイ 4 および 6)

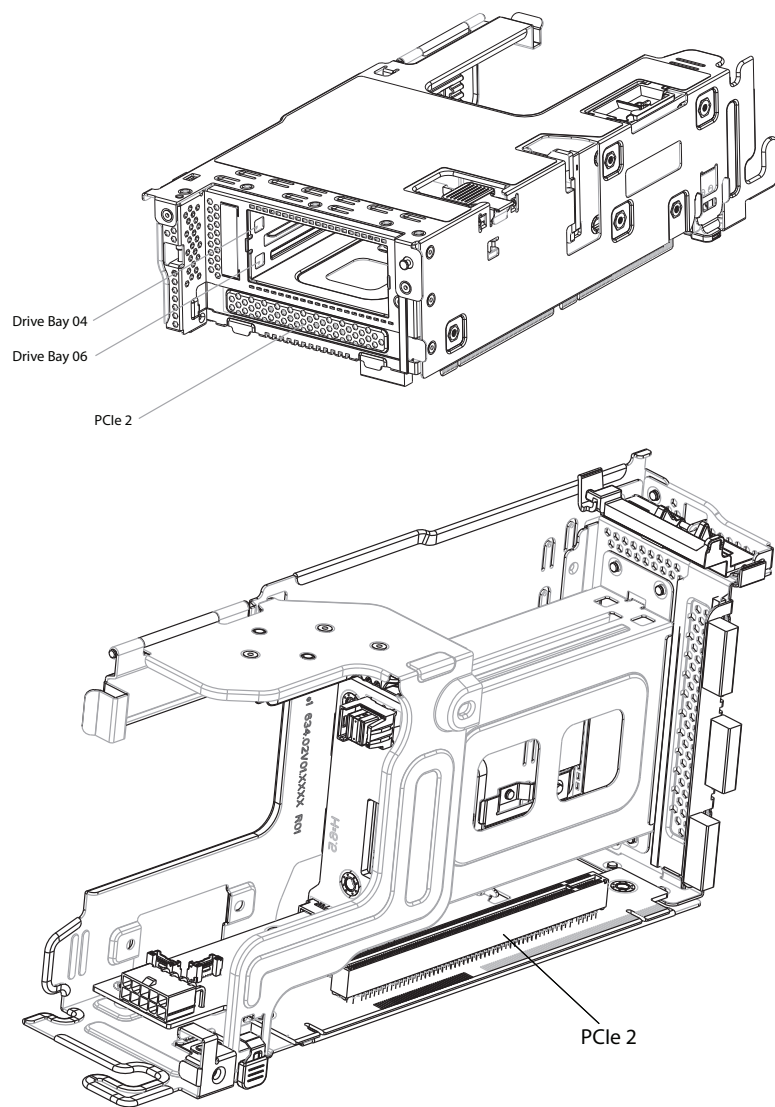


表 46 ライザー カード 2E

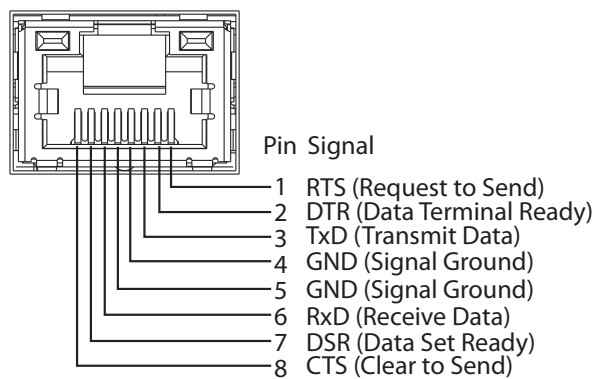
スロット #	高さ	長さ	電気	NCSI のサポート
ライザー カード 2E PID UCSC-RS2E-240M5SD				
ドライブベイ 04 : NVMe ドライブまたは SAS/SATA HDD/SSD ドライブに対応				
ドライブベイ 06 : NVMe ドライブまたは SAS/SATA HDD/SSD ドライブに対応				
PCIe 2	全二重	3/4	x16	対応

シリアルポートの詳細

背面にある RJ-45 シリアルポートコネクタのピン割り当ての詳細を [図 15](#) に示します。

図 15 シリアルポート (RJ-45 のメスコネクタ) のピン割り当て

Serial Port (RJ-45 Female Connector)



スペア部品

ここでは、サーバの販売提供中に利用可能なアップグレード関連部品と保守関連部品の一覧を示します。これらの部品の中にはすべてのサーバに内蔵されているものがあり、それ以外に必要なに応じて選択できるものや、将来使用する予備として選択し、手元に置いておくことができるものがあります。表47を参照してください。

表 47 UCS C240 SD M5 サーバ用のアップグレード関連部品と修理関連部品

予備製品 ID (PID)	説明
UCSC-HS2-C240M5=	CPU 150W 超の UCS C240 SD M5 ラックサーバ用ヒートシンク
UCS-CPUAT=	M5 サーバ用 CPU アセンブリ ツール
UCS-CPU-TIM=	M5 サーバ HS シール用単一 CPU サーマル インターフェイス マテリアル シリンジ
UCSX-HSCK=	UCS プロセッサ ヒート シンク クリーニング キット (CPU の交換用)
UCS-M5-CPU-CAR=	UCS M5 CPU キャリア
UCSC-RNVME-240M5=	C240 SD M5 背面 NVMe ケーブル (1) キット (背面 NVMe ケーブルとバックプレーンを含む)
UCSC-RSAS-C240M5x	C240M5SX 背面ドライブ SAS ケーブル キット (SAS ケーブル / バックプレーンを含む)
UCSC-BBLKD-S2=	C シリーズ M5 SFF ドライブ ブランク パネル ¹
CBL-SASHBA-M5SD=	CBL、SAS HBA からライザー 1 および 2 w/SAS/SATA ドライブ、C240M5SD
UCSC-RIS-CBL-M5SD	C240 M5SD ライザー 2 からライザー 1 へのケーブル
UCSC-PCI-1-C240M5=	ライザー 1 は 3 個の PCIe スロット (x8、x16、x8) を含み、スロット 3 では CPU2 が必要
UCSC-PCI-2B-240M5=	ライザー 2B は 3 個の PCIe スロット (x8、x16、x8) を含み、GPU および背面 SFF NVMe をサポート
UCSC-RS1C-240M5SD=	ライザー 1C : 1 つの PCIe スロット、2 つのドライブ ベイ、およびマイクロ SD スロット
UCSC-RS2E-240M5SD=	ライザー 2E : 1 つの PCIe スロット、2 つのドライブベイ、1 つの NVMe コネクタ
UCSC-PCIF-240M5= ²	C240 SD M5 PCIe ライザー ブランク パネル
UCSC-MLOMBLK-M5=	C220 M5 および C240 SD M5 mLOM ブランクパネル
UCSC-RAILS-M5=	C240M5 SD ラック サーバ用ポール ベアリングレールキット
UCSC-C240SD-EXT=	2 ポスト ラック用 UCS C240 SD M5 エクステンダ キット
UCSC-FAN-C240M5SD=	C240 SD M5 ファン モジュール (1 個)
N20-BKVM=	サーバ コンソール ポート用の KVM ケーブル
UCSC-PSU-M5BLK=	M5 サーバ用電源ブランク パネル
UCS-MSTOR-SD	SD 用ミニ ストレージ キャリア (最大 2 個を保持)
UCS-MSTOR-M2=	M.2 SATA/NVMe 用ミニ ストレージ キャリア (最大 2 個を保持)
PACK-QSFP-SFP=	QSFP 40G および SFP 10G 用パッケージ
UCSC-INT-SW01=	C220 M5 および C240 SD M5 シャーシ侵入スイッチ
UCSC-SCAP-M5=	UCSC-RAID-M5 用 Super Cap、UCSC-MRAID1GB-KIT
CBL-SC-MR12GM52=	C240 M5 サーバの UCSC-RAID-M5 用 Super Cap ケーブル

注:

1. UCS サーバからディスク ドライブを取り外した場合は、ドライブ ブランク パネルを取り付ける必要があります。これらのパネルは、システム温度を安全な動作レベルで維持し、システム コンポーネントを清潔に保つために必要です。
2. 新しいライザー ブランク パネルが必要な場合は、UCSC-PCIF-240M5= を注文してください。これは ライザー全体の 3 パネルフィルターです。シングル スロット フィルターの場合は、UCSC-PCIF-01F= を注文します (ライザー 1 およびライザー 2B のみ)。

CPU のアップグレードまたは交換



注：CPU を保守する前に、次の手順を実行します。

- デコミッションしてから、サーバの電源をオフにします。
- C240 SD M5 サーバをラックから引き出します。
- 上部カバーを取り外します。

既存の CPU を交換するには、次の手順を実行します。

(1) 手順で使用可能な次のツールと資材を用意します。

- T-30 トルクス ドライバ (交換用 CPU に同梱されています)。
- #1 マイナス ドライバ (交換用 CPU に同梱されています)。
- CPU アセンブリ ツール (交換用 CPU に同梱されています)。Cisco PID UCS-CPUAT= として別途選択できます。
- ヒートシンク クリーニング キット：交換用 CPU に付属しています。Cisco PID UCSX-HSCK= として別途選択できます。
- サーマル インターフェイス マテリアル (TIM)：交換用 CPU に付属しているシリンジ。Cisco PID UCS-CPU-TIM= として別途選択できます。

(2) [表 4 \(15 ページ\)](#) または [表 5 \(16 ページ\)](#) から適切な交換用 CPU を発注します。

(3) 『Cisco UCS C240 M5 サーバ設置およびサービスガイド』に記載されている手順 (次の URL のリンク先を参照) に従って、CPU とヒートシンクを慎重に取り外して交換します。

https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/unified_computing/ucs/c/hw/C240M5/install/C240M5/C240M5_chapter_010.html#concept_bfk_kwp_hz.

新しい CPU を追加するには、次の手順を実行します。

(1) 手順で使用可能な次のツールと資材を用意します。

- T-30 トルクスドライバ (新しい CPU に同梱されています)。
- #1 マイナス ドライバ (新しい CPU に同梱されています)。
- CPU アセンブリ ツール (新しい CPU に同梱されています)。Cisco PID UCS-CPUAT= として個別に発注できます。
- サーマル インターフェイス マテリアル (TIM) (交換用 CPU に同梱されているシリンジ)。Cisco PID UCS-CPU-TIM= として個別に発注できます。

(2) [表 4 \(15 ページ\)](#) または [表 5 \(16 ページ\)](#) から適切な新しい CPU を注文します。

(3) 新しい CPU ごとにヒートシンクを 1 つ発注します。電力消費量が 150 W 以下の CPU については、PID UCSC-HS-C220M5= を発注します。電力消費量が 150 W を超える CPU については、PID UCSC-HS2-C220M5= を発注します。

(4) 『Cisco UCS C240 M5 サーバ設置およびサービスガイド』に記載されている手順（次の URL のリンク先を参照）に従って、CPU とヒートシンクを慎重に取り付けます。

https://www.cisco.com/c/ja_jp/td/docs/unified_computing/ucs/c/hw/C240M5/install/C240M5/C240M5_chapter_010.html#concept_bfk_kwp_hz

メモリのアップグレードまたは交換



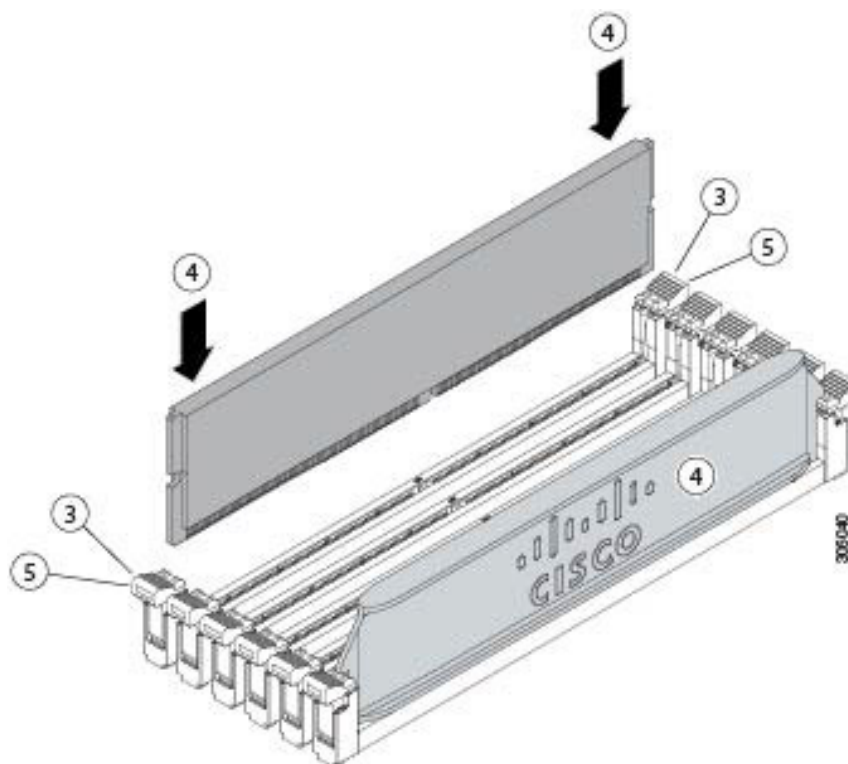
注：DIMM または PMem を保守する前に、次を行います。

- デコミッションしてから、サーバの電源をオフにします。
- サーバの上部カバーを外します。
- サーバをシャーシの前面から引き出します。

DIMM や PMem を追加または交換するには、次の手順を実行します。

- (1) 必要に応じて、[表 6 \(20 ページ\)](#) から新しい DIMM または PMem を注文します。
- (2) 両方のコネクタ ラッチを開き、必要に応じて DIMM/PMem またはブランクを取り外して交換します。

図 16 メモリの交換



- (3) スロットの所定の位置でカチッと音がするまで、DIMM または PMem の両端を均等に押します。



注：DIMM または PMem のノッチがスロットに合っていることを確認します。ノッチが合っていないと、DIMM または PMem またはスロット、あるいはその両方が破損するおそれがあります。

- (4) コネクタ ラッチを内側に少し押して、ラッチを完全にかけます。

DIMM または PMem の交換またはアップグレード方法の詳細については、次のリンクにある『Cisco UCS C240 SD M5 サーバー設置およびサービスガイド』を参照してください。

https://www.cisco.com/c/ja_jp/td/docs/unified_computing/ucs/c/hw/C240M5/install/C240M5/C240M5_chapter_010.html#concept_c53_tbp_hz

https://www.cisco.com/c/ja_jp/td/docs/unified_computing/ucs/c/hw/C240M5/install/C240M5/C240M5_chapter_010.html#concept_b1k_mbt_tgb

販売終了 (EOL) 製品

以下は、以前この製品で使用可能でしたが、すでに販売停止している部品の一覧です。まだサポートされているかを確認するには、[表 48](#) の EOL アナウンスリンクを参照してください。

表 48 EOL 製品

EOS オプション PID	説明	EOL アナウンス リンク
CPU		
UCS-CPU-I8276M	Intel 8276M 2.2GHz / 165W 28C / 38.50MB 3DX DDR4 2TB 2933 MHz	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-743832.html
UCS-CPU-I8260M	Intel 8260M 2.4GHz / 165W 24C / 35.75MB 3DX DDR4 2TB 2933 MHz	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-743832.html
UCS-CPU-I6240M	Intel 6240 2.6GHz/150W 18C/24.75MB 3DX DDR4 2933MHz	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-743832.html
UCS-CPU-I6238M	Intel 6238M 2.1GHz / 140W 22C / 30.25MB 3DX DDR4 2TB 2933 MHz	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-743832.html
UCS-CPU-I5215M	Intel 5215M 2.5GHz / 85W 10C / 13.75MB 3DX DDR4 2TB 2666MHz	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-743832.html
ドライブ		
UCS-SD19TH61X-EV	1.9 TB 2.5 インチ Enterprise Value 12G SAS SSD	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-743832.html
UCS-SD38TH61X-EV	3.8 TB 2.5 インチ Enterprise Value 12G SAS SSD	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-743832.html
UCS-SD32H123X-EP	3.2 TB 2.5 インチ Enterprise Performance 12G SAS SSD (3 倍の耐久性)	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-743832.html
UCS-SD800H123X-EP	800 GB 2.5 インチ Enterprise Performance 12G SAS SSD (3 倍の耐久性)	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-743832.html
UCS-SD400H123X-EP	400 GB 2.5 インチ Enterprise Performance 12G SAS SSD (3 倍の耐久性)	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-743832.html
UCS-SD480GH61X-EV	480 GB 2.5 インチ Enterprise Value 12G SAS SSD	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-743832.html
UCS-SD16T123X-EP	1.6 TB 2.5 インチ Enterprise Performance 12G SAS SSD (3X DWPD)	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/hyperconverged-infrastructure/hyperflex-hx-series/eos-eol-notice-c51-2451489.html
UCS-SD32T123X-EP	3.2 TB 2.5 インチ Enterprise Performance 12G SAS SSD (3 倍の耐久性)	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/hyperconverged-infrastructure/hyperflex-hx-series/eos-eol-notice-c51-2451489.html

表 48 EOL 製品

EOS オプション PID	説明	EOL アナウンス リンク
UCS-SD19TB121X-EV	1.9 TB 2.5 インチ Enterprise Value 12G SAS SSD (Toshiba PM4)	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/hyperconverged-infrastructure/hyperflex-hx-series/eos-eol-notice-c51-2451489.html
UCS-SD38TB121X-EV	3.8 TB 2.5 インチ Enterprise Value 12G SAS SSD (Toshiba PM4)	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/hyperconverged-infrastructure/hyperflex-hx-series/eos-eol-notice-c51-2451489.html
UCS-SD960G121X-EV	960 GB 2.5 インチ Enterprise Value 12G SAS SSD (Toshiba PM4)	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/hyperconverged-infrastructure/hyperflex-hx-series/eos-eol-notice-c51-2451489.html
UCS-SD400G123X-EP	400 GB 2.5 インチ Enterprise Performance 12G SAS SSD (3X DWPD)	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/hyperconverged-infrastructure/hyperflex-hx-series/eos-eol-notice-c51-2451489.html
UCS-SD960GH61X-EV	960 GB 2.5 インチ Enterprise Value 12G SAS SSD	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/hyperconverged-infrastructure/hyperflex-hx-series/eos-eol-notice-c51-2451489.html
UCSC-NVMEHW-H3200	U.2 3.2 TB HGST SN200 NVMe 高性能高耐久性 (HGST)	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/hyperconverged-infrastructure/hyperflex-hx-series/eos-eol-notice-c51-2451489.html
UCSC-NVMEHW-H1600	U.2 1.6 TB HGST SN200 NVMe 高性能高耐久性 (HGST)	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/hyperconverged-infrastructure/hyperflex-hx-series/eos-eol-notice-c51-2451489.html
UCS-SD800G123X-EP	800GB 2.5 インチ Enterprise Performance 12G SAS SSD (3 倍の耐久性)	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/hyperconverged-infrastructure/hyperflex-hx-series/eos-eol-notice-c51-2451489.html
UCS-SD16H123X-EP+	1.6 TB 2.5 インチ Enterprise Performance 12G SAS SSD (3 倍の耐久性)	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-743832.html
UCSC-NVMEHW-H6400	Cisco 2.5 インチ U.2 6.4 TB HGST SN200 NVMe High Perf. 高耐久性	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/hyperconverged-infrastructure/hyperflex-hx-series/eos-eol-notice-c51-2451489.html
UCSC-NVME-H38401	Cisco HHHL AIC 3.8TB HGST SN260 NVMe 超高性能、高耐久性	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-2412151.html
UCSC-NVMEHW-H7680	7.7TB 2.5in U.2 HGST SN200 NVMe 高性能バリュー耐久性	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/hyperconverged-infrastructure/hyperflex-hx-series/eos-eol-notice-c51-2451489.html
UCSC-NVMEHW-H800	800GB 2.5in U.2 HGST SN200 NVMe 高性能高耐久性	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-2412151.html
オペレーティング システム		
SLES-2SUV-1A	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、VM 無制限)、1 年サポートが必要	
SLES-2SUV-1S	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、VM 無制限)、優先 1 年 SnS	

表 48 EOL 製品

EOS オプション PID	説明	EOL アナウンス リンク
SLES-2SUV-3A	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、VM 無制限)、3 年サポートが必要	
SLES-2SUV-3S	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、VM 無制限)、優先 3 年 SnS	
SLES-2SUV-5A	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、VM 無制限)、5 年サポートが必要	
SLES-2SUV-5S	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、VM 無制限)、優先 5 年 SnS	
SLES-SAP-2SUV-1A	SUSE Linux Enterprise Server for SAP Applications HA 付き (1 ~ 2 CPU、VM 無制限)、1 年サポートが必要	
SLES-SAP-2SUV-1S	SAP アプリケーション用 SLES (1 ~ 2 CPU、VM 無制限)、優先 1 年 SnS	
SLES-SAP-2SUV-3A	SUSE Linux Enterprise Server for SAP Applications HA 付き (1 ~ 2 CPU、VM 無制限)、3 年サポートが必要	
メモリ		
UCS-MR-X16G1RT-H	16GB DDR4-2933MHz RDIMM 1Rx4 (8Gb) /1.2v	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/ucs-hyperflex-accessories-eol14611.html [英語]
UCS-MR-X32G2RT-H	32GB DDR4-2933MHz RDIMM 2Rx4 (8Gb) /1.2v	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/ucs-hyperflex-accessories-eol14611.html [英語]
UCS-MR-X64G2RT-H	64GB DDR4-2933MHz RDIMM 2Rx4 (16Gb) /1.2v	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/ucs-hyperflex-accessories-eol14611.html [英語]
UCS-ML-X64G4RT-H	64GB DDR4-2933MHz LRDIMM 4Rx4 (8Gb) /1.2v	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/ucs-hyperflex-accessories-eol14611.html [英語]
UCS-ML-128G4RT-H	128GB DDR4-2933MHz LRDIMM 4Rx4 (16Gb) /1.2v	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/ucs-hyperflex-accessories-eol14611.html [英語]
SLES-SAP-2SUV-3S	SAP アプリケーション用 SLES (1 ~ 2 CPU、VM 無制限)、優先 3 年 SnS	
SLES-SAP-2SUV-5A	SUSE Linux Enterprise Server for SAP Applications HA 付き (1 ~ 2 CPU、VM 無制限)、5 年サポートが必要	
SLES-SAP-2SUV-5S	SAP アプリケーション用 SLES (1 ~ 2 CPU、VM 無制限)、優先 5 年 SnS	

技術仕様

寸法と重量

表 49 UCS C240 SD M5 の寸法と重量

パラメータ	値
高さ	87.1 mm (3.43 インチ)
幅 (スラム ラッチを含む)	446.3 mm (17.57 インチ) ハンドルを含めた場合： 481.5 mm (18.96 インチ)
奥行	55.9 cm (22.0 インチ) ハンドルを含めた場合： 58.1 cm (22.9 インチ)
前面のスペース	76 mm (3 インチ)
周囲と側面の間に必要な隙間	25 mm (1 インチ)
背面のスペース	152 mm (6 インチ)
Weight (重み付け) ¹	
[Maximum] (6 SSD、2 CPU、24 DIMM、2 1050 W 電源)	18.4 kg (40.5 ポンド)
[Minimum] (1 SSD、1 CPU、1 DIMM、1 1050 W 電源)	33 ポンド (15 kg)
BARE (0 SSD、0 CPU、0 DIMM、1 1050 W 電源)	13.2 kg (29.0 ポンド)

注：

1. 重量には、サーバに取り付けられた内部レールが含まれます。ラックに取り付けられた外部レールは含まれていません。

電力仕様

サーバには、以下の電源ユニットを使用できます。

- 1050 W AC 電源装置 (表 50 を参照)

表 50 UCS C240 SD M5 1050 W (AC) 電源ユニットの仕様

パラメータ	仕様			
入力コネクタ	IEC320 C14			
入力電圧範囲 (V rms)	100 ~ 240			
最大許容入力電圧範囲 (V rms)	90 ~ 264			
周波数範囲 (Hz)	50 ~ 60			
最大許容周波数範囲 (Hz)	47 ~ 63			
最大定格出力 (W) ¹	800		1050	
最大定格スタンバイ出力 (W)	36			
公称入力電圧 (V rms)	100	120	208	230
公称入力電流 (A rms)	9.2	7.6	5.8	5.2
公称入力電圧の最大入力 (W)	889	889	1167	1154
公称入力電圧の最大入力 (VA)	916	916	1203	1190
最小定格効率 (%) ²	90	90	90	91
最小定格力率 ²	0.97	0.97	0.97	0.97
最大突入電流 (A ピーク)	15			
最大突入電流 (ms)	0.2			
最小ライドスルー時間 (ms) ³	12			

注:

- ローライン入力電圧 (100 ~ 127 V) で動作時の最大定格出力は 800 W に制限されます
- これは、80 Plus Platinum 認証を得るのに必要な最小定格です。認定値については <http://www.80plus.org/> [英語] で公開されているテストレポートを参照してください。
- 入力電圧のドロップアウト時、時間出力電圧は 100% 負荷の状態規制の範囲内に留まります

具体的な構成の電力を計算するには、次の URL にある Cisco UCS 電力計算ツールを使用してください。

<http://ucspowercalc.cisco.com> [英語]

環境仕様

表 51 に、C240 SD M5 サーバの環境仕様を示します。

表 51 UCS C240 SD M5 SFF の環境仕様

パラメータ	最小
動作温度	10°C ~ 35°C (50°F ~ 95°F)、直射日光の当たらない場所 機能低下までの最大許容動作温度
非動作時温度	1°C/300 m (1°F/547 フィート)、950 m (3117 フィート) 超 -40 °C ~ 65 °C (-40 °F ~ 149 °F) 最大の変化のペース (動作時と非動作時) 20 °C/時 (36 °F/時)
動作時の相対湿度	8 ~ 90%、最大露点温度 24 °C (75 °F)、非凝縮環境
非動作時相対湿度	5 ~ 95%、最大露点温度 33 °C (91°F)、非凝縮環境
動作高度	0 m ~ 3050 m (10,000 フィート)
非動作時高度	0 m ~ 12,000 m (39,370 フィート)
音響レベル測定 A 特性 ISO7779 LWAd (Bels)、23 °C (73 °F) で動作	5.8
音圧レベル測定 A 特性 ISO7779 LpAm (dBA)、23 °C (73 °F) で動作	43

準拠要件

C シリーズ サーバの規制準拠要件を次に示します。表 52

表 52 UCS C シリーズの規制準拠要件

パラメータ	説明
適合規格	本製品は、指令 2014/30/EU および 2014/35/EU による CE マーキングに準拠しています。
安全性	UL 60950-1 第 2 版 CAN/CSA-C22.2 No. 60950-1 第 2 版 EN 60950-1 第 2 版 IEC 60950-1 第 2 版 AS/NZS 60950-1 GB4943 2001
EMC : エミッション	47CFR Part 15 (CFR 47) クラス A AS/NZS CISPR 32、クラス A CISPR32 クラス A EN55032 クラス A ICES003 クラス A VCCI クラス A EN61000-3-2 EN61000-3-3 KN32 クラス A CNS13438 クラス A
EMC : イミュニティ	EN55024 CISPR24 EN300386 KN35

シスコ コンタクトセンター

自社導入をご検討されているお客様へのお問い合わせ窓口です。
製品に関して | サービスに関して | 各種キャンペーンに関して | お見積依頼 | 一般的なご質問

お問い合わせ先

お電話での問い合わせ
平日 9:00 - 17:00
0120-092-255

お問い合わせウェブフォーム

cisco.com/jp/go/vdc_callback



©2022 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco, Cisco Systems, および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における商標登録または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R) この資料の記載内容は 20XX 年 X 月現在のものです。この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー
cisco.com/jp